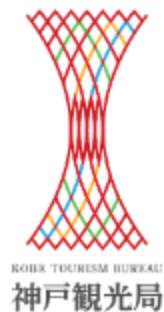


神戸観光局マーケティング情報 マンスリーレポート (2023年11月号)

2023年11月28日



1. 今月のトピックス

- ・神戸で開催されたMICEに関するレポート P.3～5
- ・関西国際空港 2023年冬期スケジュール P.6～7
- ・観光庁 2023年度補正予算案の概要 P.8～13
- ・神戸観光局SNS情報 P.14
- ・今月号の注目数字（国内観光）OTAモニタリング P.15～17

2. 定点観測 ～観光庁など統計データより～

- ・延べ宿泊者数の推移（全国、兵庫県）[推計値] P.19～20
- ・ホテル平均稼働率 P.21

3. インバウンドに関する情報

- ・2023年月別訪日外客数 及び 各国・地域別の状況 P.23～24
- ・主要ターゲット国の旅行行動傾向分析 ～フランス～ P.25

4. 交通機関に関する情報

- ・関西国際空港・神戸空港の利用状況 P.27
- ・関空国際線就航状況・入国状況 P.28
- ・クルーズ船寄港状況 P.29
- ・クルーズ船 12月の入港予定情報 P.30

5. 神戸市内観光に関する情報 ～神戸観光局オリジナルデータ～

- ・市内観光案内所 観光客案内件数、対応概況、国籍別対応状況 P.32～34
- ・主要市内観光施設来場者数 P.35
- ・所管施設入館者数（金の湯・銀の湯・萌黄の館） P.36
- ・神戸市内大型施設の主な催事情報（12～1月） P.37

● 参考資料集 P.38～

※観光統計情報については、統計の種類によって集計結果が配信されるタイミングに差が生じます。
本レポートではできる限りタイムリーな配信に努めてまいります、内容によって取扱い月が異なります。



今月のトピックス

2023年は、神戸市が観光庁の「グローバルMICE都市」として選定されてから10年目の節目の年になります。その間、神戸では数多くのMICEが開催され、その結果、国際会議の開催件数は、2017年から3年連続東京に次いで全国2位を維持することができました。※日本政府観光局（JNTO）調べ
コロナ禍で急減したMICEですが、2023年春からは渡航制限がなくなり、MICEが復活しつつあります。今回、神戸コンベンションビューロー（一般財団法人神戸観光局）では、コロナ禍前後での神戸市内のMICEの開催状況を調査・分析しました。その一部を抜粋してご紹介します。

■ そもそもMICEとは？

- 企業ミーティング（Meeting）、企業等が行うインセンティブ旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行うコンベンション（Convention）、展示会／イベント（Exhibition／Event）の総称



<MICEの効果>

地域への経済効果

ビジネス・イノベーションの
機会の創出

都市力の向上

■ 調査方法

- 神戸市内でどのようなMICEが開催されているかを把握するため、毎月末に対象施設へ月内に開催されたMICEについてのアンケートを実施

調査期間 2017年4月～2023年3月（6年間）

対象施設 市内MICE施設 28箇所（公共施設7箇所、ホテル11箇所、その他10箇所）

👉 調査結果については、ぜひ公表レポート（全体）をご覧ください。

<https://kobe-convention.jp/ja/news/8180/>



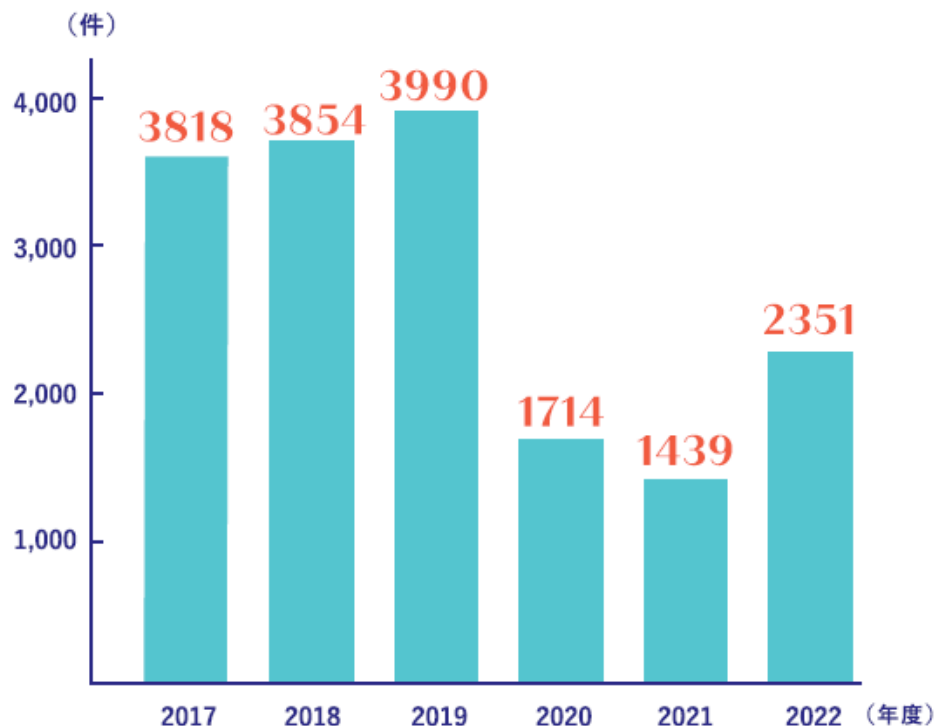
【出典】一般財団法人神戸観光局
「数字でみる神戸MICE」
「神戸で開催されたMICEに関するレポート」

■ 過去5年間の市内MICE開催状況

▼コロナ前は、年間約4,000件ものMICEが開催し、130万人以上が参加するために神戸へ来訪していた
2022年秋以降の渡航制限の緩和により、コロナ前の約6割まで回復しつつある

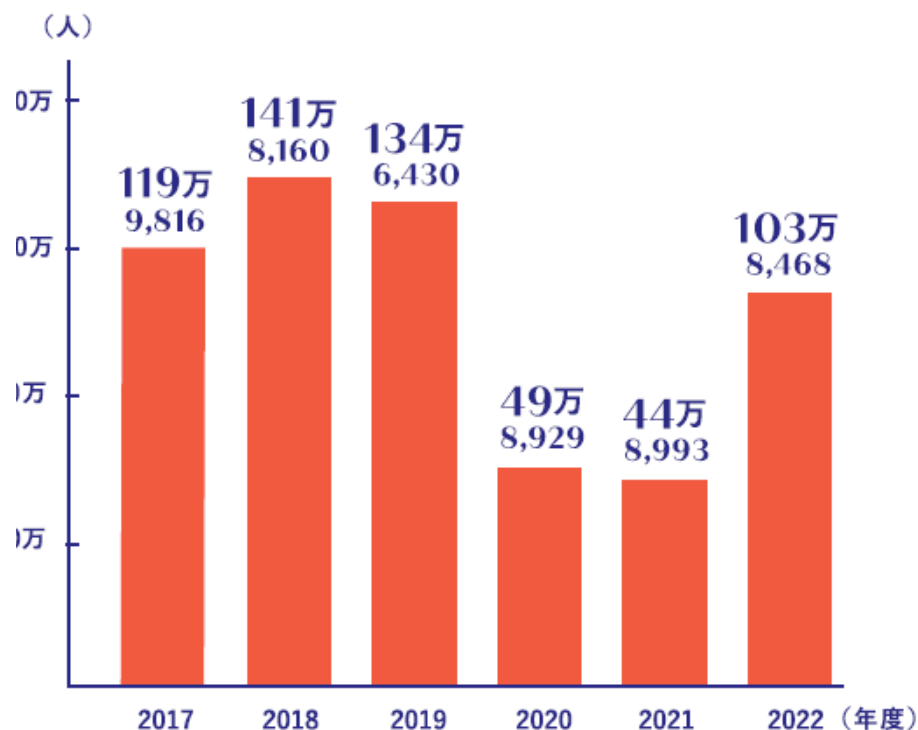
<開催件数の推移>

2017～2022年度の市内MICE開催件数



<参加者数の推移>

2017～2022年度の市内MICE参加者数

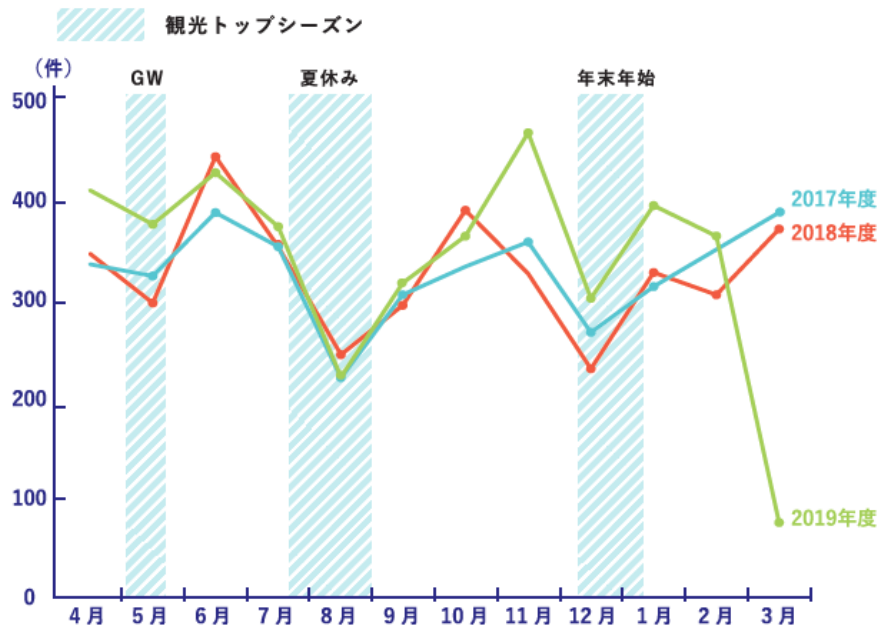


■ 過去5年間の市内MICE開催状況

▼観光の閑散期や平日にMICEを開催し、観光トップシーズンや土日以外の市内の宿泊率を高めている
MICEと観光の両方があることで、年間を通して市内の宿泊需要の平準化がうまく図れている

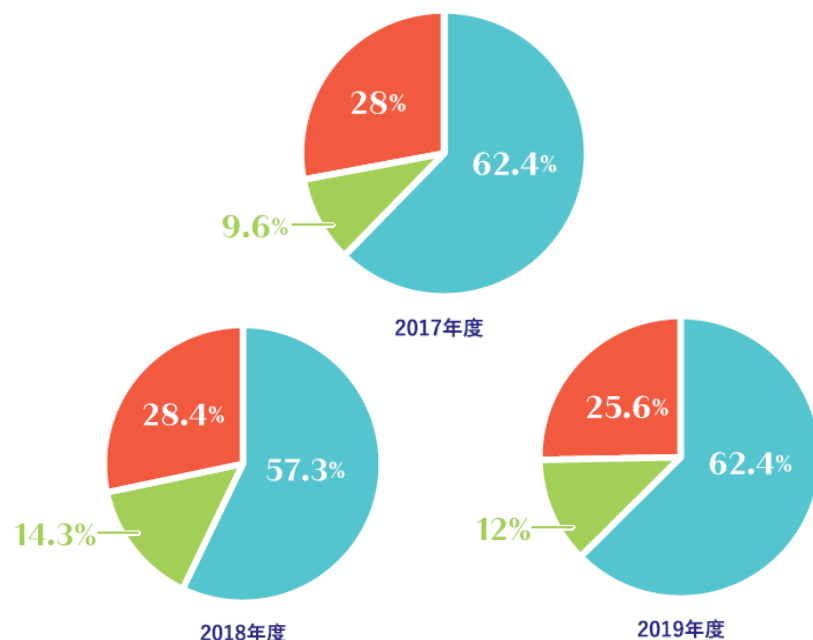
<開催時期の傾向>

2017～2019年度の月ごとの市内MICE開催件数



<開催曜日の傾向>

- 平日：開催期間が平日(月～金)のみ
- 平日～週末：開催期間が平日(月～金)および週末(土・日)を含む
- 週末：開催期間が週末(土・日)のみ



他にも、公表レポート(全体)ではM/I/C/E別の開催状況の分析などを掲載しています。ぜひご覧ください。

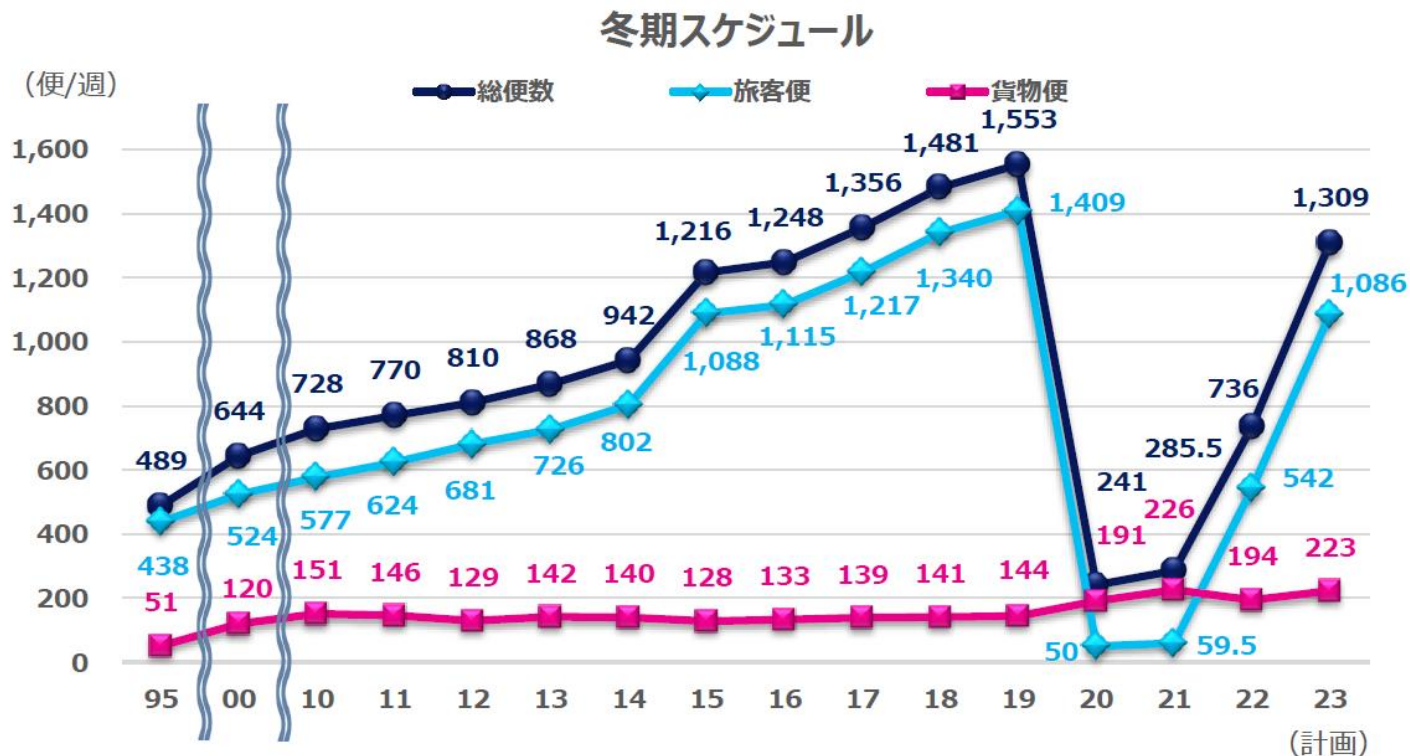
<https://kobe-convention.jp/ja/news/8180/>



【出典】一般財団法人神戸観光局
「神戸で開催されたMICEに関する調査レポート」

- ◆ 関西国際空港が、2023年冬期スケジュール（週当たり便数の見込み）を発表（10/25プレス）
- ◆ 2023年 冬期スケジュール国際定期便 1,309便／週（2019年比 84%） ※3月ピーク時点
- ◆ うち、国際旅客便数は、1,086便／週（2019年比 77%）

国際定期便 就航便数の推移



詳しくは、関西エアポート ニュースリリースをご確認ください。

[2023年 冬期スケジュール 国際定期便は週 1,309便～国際旅客便 19年比 77%の回復、中国方面を除くと19年レベルまで回復～](#)

出典：関西エアポート ニュースリリース

「2023年 冬期スケジュール 国際定期便は週 1,309便～国際旅客便 19年比 77%の回復、中国方面を除くと19年レベルまで回復～」より

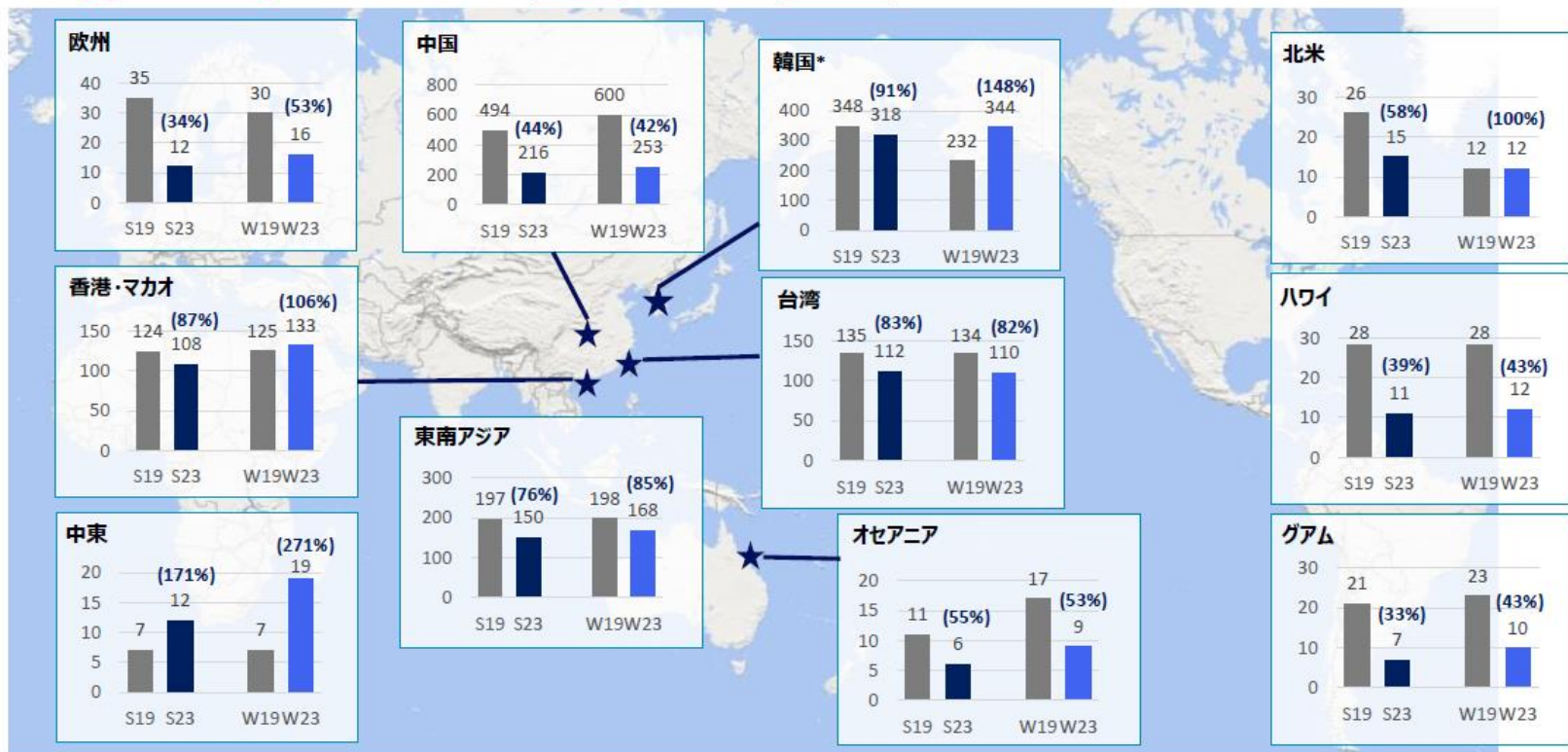
うち、回復を牽引しているのは、

韓国方面 344便/週 (2019年比 148%)、東南アジア方面 168便/週 (2019年比 85%)、
香港・マカオ方面 133便/週 (2019年比 106%)、

国際旅客定期便 2023年冬期スケジュール想定便数

・ S23 は2023年夏期スケジュール直近の便数 (2023年10月8日-10月14日)
・ W23 は2023年冬期スケジュールの3月の計画便数
・ グラフ中 ()内の数値は2019年夏期/冬期スケジュールとの同期比較の便数の回復率

W23 : **1,086便** (W19比回復率**77%** / 中国除く**103%**) S23 : 967便 (S19比回復率67% / 中国除く80%)



出典：関西エアポート ニュースリリース

「2023年 冬期スケジュール 国際定期便は週 1,309便～国際旅客便 19年比 77%の回復、中国方面を除くと19年レベルまで回復～」より

観光庁 2023年度補正予算案の概要 ①

- ・11月10日、観光庁は今年度補正予算案の概要を発表。予算規模：約689億円
(注意：今後の国会審議を経て確定)

観光庁 令和5年度補正予算

約 689 億円



訪日外国人旅行消費額5兆円という目標を早期に達成するため、インバウンドの地方への誘客や観光地の再生・高付加価値化等により消費額拡大を一層強力に推進するとともに、喫緊の課題であるオーバーツーリズムの未然防止・抑制や人材不足対応等の受入環境整備を早急に実施する。

地方誘客促進によるインバウンド拡大 【約184億円】

- 特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質の向上
文化、自然、食、スポーツ等を早朝夜間や未公開・非混雑エリア等の活用と組み合わせ、特別な体験や期間限定の取組を創出



- 地域観光新発見事業
全国津々浦々に埋もれる観光資源を掘り起こし地方誘客を強力に推進



- 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり
全国11モデル地域において、高付加価値旅行者を惹きつけるコンテンツの創出等を加速



- 海外ビジネス客の訪日促進
企業のミーティング・インセンティブ旅行向けコンテンツの開発等を全国各地で実施

※上記に加え、クルーズ船の寄港地観光ツアー造成支援等を実施

地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化 【約200億円】

地域一体となった面的な宿泊施設の改修、廃屋撤去等による観光地の再生・高付加価値化を引き続き推進
※令和4年度第2次補正予算における国庫債務負担行為の歳出化予算

オーバーツーリズムの未然防止・抑制・受入環境整備による持続可能な観光推進 【約305億円】

- オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能観光の推進
受入環境の整備・増強、需要の適切な管理、需要の分散・平準化、マナー違反行為の防止・抑制、地域住民と協働した観光振興に取り組む地域（先駆モデルとなる全国約20地域等）を支援



- 観光地・観光産業における人材不足対策
人材活用に向けた設備投資・セミナー等を支援

- 公共交通の対応力増強
車両の大型化・デジタルを活用した混雑状況の可視化



※上記に加え、観光施設等の危機管理対応能力の強化、宿泊施設における省エネ設備導入支援、空港におけるスマートレーンの整備支援 等を実施

■ 地方誘客促進によるインバウンド拡大

▼内容としては、「観光再始動事業」の後継事業

特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業



事業目的・背景・課題

- 我が国のインバウンド消費の回復は途上であり、特に、地方におけるインバウンド消費の回復状況については、地域毎に大きな差が生じている。
- 早期にインバウンド消費額5兆円を達成し、一人当たり消費額25万円を目指すと同時に、我が国の地方の魅力を世界中に発信・訪日誘客し、その果実を地方へ波及させることが極めて重要。

事業内容

- 我が国が誇る観光資源（自然、文化、食、スポーツ等）を、早朝夜間や未公開・非混雑エリア等の十全な活用と組み合わせ、これまでにはないインバウンド需要を創出、期間限定の特別な体験として提供。
- 特に、地方における体験コンテンツ等の消費を一層拡大・質の向上を図るため、地方の自然・伝統文化活用、食の地産地消、地域人材の活用等を奨励し、極めて付加価値が高く、地域の目玉となる様々な資源を集約した「地方プレミアム体験コンテンツ」の創出を促進。
- 海外情報発信の観点から、海外旅行博等における訪日イベントを実施。

事業スキーム

・事業形態：直轄事業・間接補助事業

- (1) 国・地方型（直轄事業）：上限8,000万円（最低事業費：3,000万円）
- (2) 民間企業型（補助事業）
 - ①インバウンド規模3,000名以上：1,500万円定額 1,500～6,000万円まで補助率1/2（最低事業費：2,500万円）
 - ②高付加価値：1,000万円定額 1,000～3,000万円まで補助率1/2（最低事業費：1,500万円）（単価3倍以上）

- ・請負先：民間事業者
- ・補助対象：国→民間事業者（事務局）→地方公共団体、DMO、民間事業者 等

事業イメージ

期間限定の特別な体験



地方プレミアム体験コンテンツ



海外情報発信



お問い合わせ先：観光庁国際観光課、観光資源課 電話：03-5253-8324、03-5253-8924

■ 地方誘客促進によるインバウンド拡大

▼内容としては、「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ助成支援事業」の後継事業

地域観光新発見事業



事業目的・背景・課題

- 観光需要が本格的に回復する中、観光客の宿泊先はインバウンドを中心に都市部へ偏在傾向。観光による経済効果を地方にも波及するためには、特に地方部の地域間競争力を高め、**地方誘客を強力に進める必要**。
- **全国津々浦々に埋もれる地域の観光資源を掘り起こし、地域の多様な観光コンテンツを造成**するとともに、**適時適切な誘客につながる販路開拓や情報発信**を行うことにより、**地方への継続的な来訪を促進**。

事業内容

- 地域の観光資源を活用した地方誘客に資する観光コンテンツについて、**十分なマーケティングデータを活かした磨き上げから適時適切な誘客につながる販路開拓及び情報発信の一貫した支援**を実施。

〈支援内容〉・専門家の意見を踏まえた観光コンテンツの磨き上げ・商品化
・新たな観光コンテンツのオンライン等を活用した国内外への販路開拓及び情報発信

事業イメージ

観光コンテンツの磨き上げ・商品化



小千谷織のオリジナル織物製作 (小千谷市)

茶の道ロングトレイル (掛川市)

また観光活用されていない
新たな地域素材の活用

- ・観光には活用されていない地域産業等を活かした観光コンテンツの磨き上げ
- ・既存のコンテンツ等も含めたパッケージ化・ツアー化 等

販路開拓・情報発信



ATWS2023北海道の開催

適時適切な誘客に繋げる販路形成・情報発信

- ・国内実施主体と海外旅行会社とのマッチング・商談会の開催
- ・効果的な販路開拓・情報発信に向けたセミナーの開催
- ・オンラインを活用した情報発信 等

事業スキーム

- ・事業形態：間接補助事業 400万円まで定額、400万円を超える部分については補助率1/2 (補助上限：1,250万円、最低事業費：600万円)
- ・補助対象：国→民間事業者(事務局)→地方公共団体、DMO、民間事業者等

お問い合わせ先 観光庁 観光地域振興部 観光資源課 新コンテンツ開発推進室 電話：03-5253-8924

■ 地方誘客促進によるインバウンド拡大

▼ 「新時代のインバウンドアクションプラン」を受け、MICE関連の事業も

海外ビジネス客の訪日・消費拡大事業



事業目的・背景・課題

- ビジネス分野の誘客は、「新時代のインバウンドアクションプラン」でも位置づけられた重点分野。ビジネス目的による訪日客は、**長期滞在・高い消費単価の傾向**があり、国内全体の消費額増につながるとともに、**需要の平準化**にも資するものである。
- **ミーティング・インセンティブ旅行 (MI)** は、世界的に**市場規模が大きく**、今後も**成長率が見込まれる分野**であるが、国内での誘客の仕組みやコンテンツ造成が進んでおらず、世界の需要を十分に取り込めていない。**足下での回復が進み**、2025年には、**大阪・関西万博を契機として多くのインセンティブ旅行・企業会議が想定**される中、受入体制を早急に整備する必要がある。

事業内容

- ①地域一体となったコンテンツ開発
コンベンションビューロー、地元産業、旅行会社等の地域関係者による検討会等を開催し、地域一体となったミーティングインセンティブ旅行 (MI) 向けのコンテンツの開発等を実施
- ②開催効果・広域波及の拡大
他の地域で開催される国際会議等のイベントにおける、ツアー/エクスカーションの販売・提供等を促進し、開催地への経済効果のみならず、開催地以外の地域への波及効果を高める。

事業スキーム

- ①事業形態：直轄事業（上限：4,000万円）
- ②事業形態：直轄事業（上限：1,200万円）
- ①②請負先：民間事業者

事業イメージ



ユニークベニュー活用のイメージ



エクスカーションイメージ



テクニカルビジットイメージ

お問い合わせ先:観光庁 MICE室 電話:03-5253-8938

■ 受入環境整備・持続可能な観光推進

・オーバーツーリズム対策や、人手不足対策の事業などにも力が入れている

事業者向け

観光地・観光産業における人材不足対策事業



事業目的・背景・課題

- 宿泊業ではインバウンドをはじめとする観光需要の急速な回復に伴い人手不足が顕著となっている。今後更なる増加が見込まれる観光需要を着実に取り込み、地方への旅行者数・旅行消費額等の増加といったインバウンドによる経済効果を最大限にするためにも、受け皿となる宿泊業の人手不足の解消が急務。
- 人手不足の解消に向け、採用活動支援等の足下の対策、機械化・DX化推進のための設備投資支援等の短期的な対策、外国人材の活用等の中長期的な対策など、あらゆるフェーズの人手不足対策を総合的に実施。

事業内容

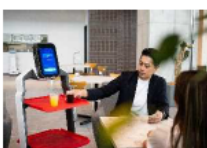
- ①人材確保支援
大型の合同企業説明会等における宿泊業の魅力発信イベントの実施等、事業者の採用活動を全面的に支援
- ②人材活用の高度化に向けた設備投資支援
人手をかけるべき業務に人材を集中投下し、サービス水準向上・賃上げを実現するため、スマートチェックイン・アウト、配膳・清掃等ロボット、チャットボット、予約等管理システム（PMS）等の設備投資を補助
- ③外国語人材の確保
特定技能試験の受験者を増やすためのジョブフェア等のPR活動、試験合格者の雇用のためのマッチングイベントの実施、観光地における外国語対応人材の確保等

事業イメージ

設備導入費補助



スマートチェックイン・アウト



配膳ロボット



チャットボット

外国人材の確保



特定技能外国人材
(宿泊業)

事業スキーム

- ・事業形態：①・③直轄事業 ②間接補助事業（補助上限500万円、補助率1/2）
- ・補助対象・請負先：①・③民間事業者 ②国→民間事業者（事務局）→宿泊事業者

お問い合わせ先：観光庁 観光産業課 電話：03-5253-8367

■ 受入環境整備・持続可能な観光推進

・その他宿泊施設サステナビリティの強化や、災害時に向けたインバウンドの安全対策など

宿泊施設サステナビリティ強化支援事業



事業目的・背景・課題

- 訪日外国人旅行者を中心にサステナブルな旅行や宿泊施設の利用意向が年々高まっており、世界の旅行者が我が国を旅行先として選択しなくなることを防ぐためにも、宿泊施設のサステナビリティ強化が必要。
- このため、訪日外国人旅行者の受け入れに向けて、旅館・ホテル等の宿泊施設が実施する、サステナビリティの向上に関する取組を支援する。

事業内容・事業イメージ

宿泊施設における省エネ型ボイラー、太陽光発電、省エネ型空調等の省エネ設備等の導入支援を行う。



省エネ型ボイラー



太陽光発電



省エネ型空調

事業者向け

事業スキーム

- ・事業形態：間接補助事業（補助上限1,000万円、補助率1/2）
- ・補助対象：国→民間事業者（事務局）→宿泊事業者

お問い合わせ先：観光庁 観光産業課 電話：03-5253-8330

・補正予算案の内容は、今後の国会審議を経て確定となりますので、ご注意ください。

出典：観光庁「令和5年度第1次補正予算の概要」より（11/10発表）
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/yosan/content/001707765.pdf>

インバウンド安全・安心対策推進事業



事業目的・背景・課題

- 気候変動等の影響を受け、我が国の災害は激甚化・頻発化の傾向があり、自然災害のリスクが上昇。インバウンドの本格的な回復により、訪日外国人旅行者が災害に遭うケースも想定されるとともに、医療機関を受診するケースも増加することが想定される。
- 観光施設等における非常時等の対応や医療機関の訪日外国人旅行者への対応の強化を図ることで、安全・安心な訪日旅行環境を整備し、滞在時間の増加や消費拡大を図る。

事業内容

○現場で訪日外国人旅行者に直接対応をする観光施設や観光案内所、または医療機関等に対し、非常時・受診時の外国人旅行者対応に必要な整備を支援するとともに、地域の災害時等における観光危機管理の強化を支援。

○具体的な調査内容・補助対象事業は以下のとおり。

- ①観光施設等の避難所機能の強化
- ②観光施設等の多言語対応機能の強化
- ③医療機関の訪日外国人患者受入機能の強化
- ④災害時等における観光危機管理の強化

事業スキーム

- ・事業形態：直接補助事業（補助率 1/2）※④については、補助上限500万円
- ・補助対象：民間事業者、地方公共団体、DMO 等 ※④については、地方公共団体のみ

お問い合わせ先：観光庁 外客受入参事官室 電話：03-5253-8972

事業イメージ



①トイレの洋式化



①非常用電源装置の整備



②デジタルサイネージの整備



③キャッシュレス決済環境の整備



④専門家による現地調査



昨年(2021年)の12月にエンゲージメントの高かった投稿を紹介。

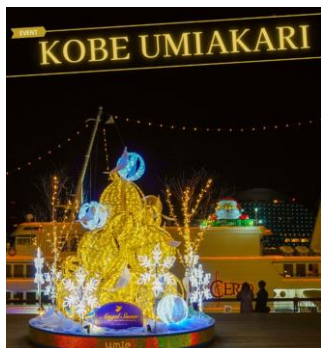
観光スポット編

↑ いいね数 上位ランキング

12月は
イルミネーション!

2022年12月

BEST 1



2022/12/16

BEST 2



2022/12/16

BEST 3



2022/12/21

BEST 4



2022/12/9

BEST 5



2022/12/2

昨年12月は「KOBE UMIAKARI」が**1位**に。イルミネーションスポットの中でも港の夜景との一体感が人気を集めた。
2位⇒「古城のクリスマス」。布引ハーブ園「古城のクリスマス2022」をリアル感のある動画で紹介した投稿。
3位⇒「光きらめく旧居留地」。冬の夜を暖かく彩るイルミネーション。幻想的な雰囲気にもまれる街並みを紹介。
4位⇒「カッサアルモニカ/音楽の宝箱」。神戸ルミナリエの意義や想いを継承。今年度は2024年1月に4年ぶりに「神戸ルミナリエ」が開催。
5位⇒「神戸の産業遺産をめぐる」。神戸には近代化の歴史を見守ってきた産業遺産がたくさん。神戸のディープな魅力を感じるモニターツアー。



2022/12/13



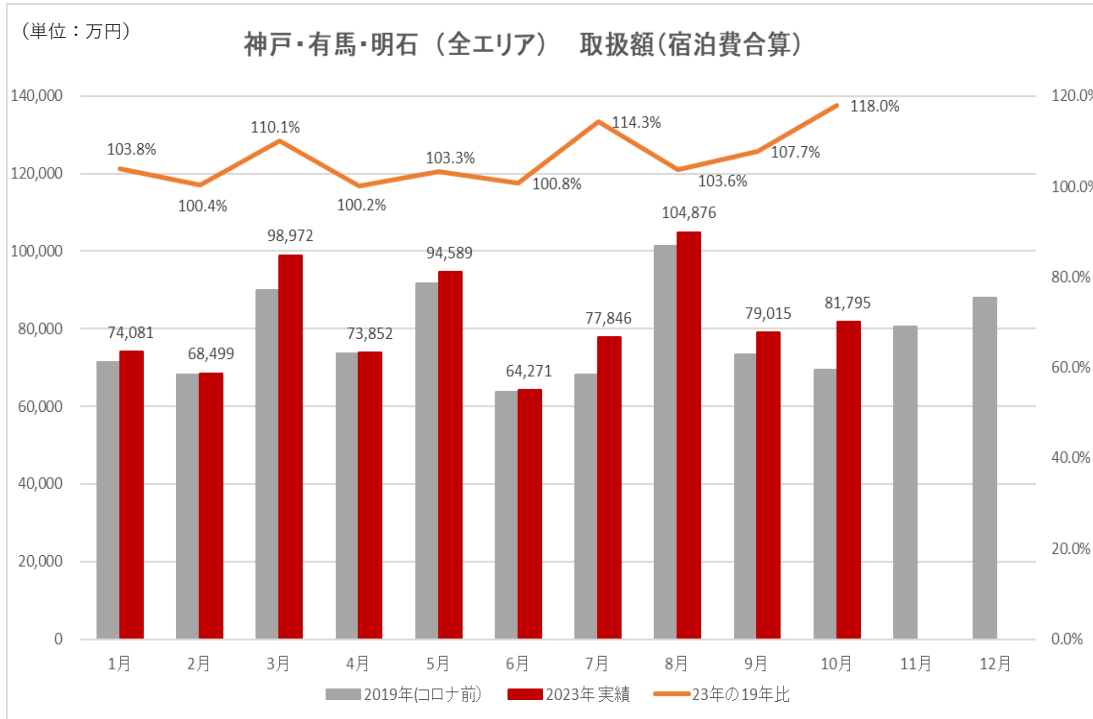
スポット以外の記事では、「神戸で愛され続ける老舗洋食屋さん3選」の記事が高いエンゲージメントを獲得。グルメ関連の投稿は常に注目度が高い。

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

■ 直近のOTA予約状況について

- 10月 全市（明石含む）の取扱額：2019年同月比 118.0%、人泊数：108.0%、単価：109.3%。
- コロナ前に届かない月も多かった人泊数については、10月は108.0%とコロナ前を超える勢いで回復。
- 有馬にあっては、酷暑により温泉が時期的に選ばれにくくなっていること、単価の上昇から国内旅行者よりもインバウンドに選ばれやすくなってきている傾向がみられる。
- 市街地にあっては、人手不足により販売部屋数を抑えつつ、単価を上げることで売上を維持しているホテルが増加傾向。（ただし、人泊数はコロナ前と同等まで回復している。）

【実績】



2019年度比

	8月	9月	10月
全市			
取扱額	103.6% (88.3%)	107.7% (92.8%)	118.0% (117.6%)
人泊数	96.4% (87.6%)	99.5% (90.1%)	108.0% (109.7%)
市街地			
取扱額	106.7% (88.8%)	110.1% (92.3%)	121.2% (121.6%)
人泊数	99.7% (91.5%)	99.7% (90.6%)	112.1% (111.4%)
有馬			
取扱額	92.5% (88.3%)	91.7% (88.4%)	107.2% (101.3%)
人泊数	81.8% (80.7%)	81.0% (80.2%)	93.2% (94.7%)

黒太字は
2023年-2019年比（ ）内は同時点の2022年-2019年比

【このデータの特徴】

現在の国内観光における予約手段として、急速にその影響力が高まったのが、「OTA = Online Travel Agent」。代表的なOTAとして、じゃらんnet、楽天トラベル、一休、Booking.com、JTBるるぶトラベルが上位を形成している。サービスが登場してから個人旅行やビジネス出張などの手配手段として継続的に発展しており、最近ではパソコンではなくスマホからの利用（予約）が主となってきている。2022年のコロナ影響下の中でも、利用者数は増加傾向にあり、トップシェアのOTAの利用者数は1368万人（対前年比177%）と成長している。最近では観光庁のGOTOキャンペーンや、全国旅行支援などで利用を開始する人も増えたと推察される。

一方で、大型宿泊施設や各種ホテルグループでは、OTAや旅行代理店（リアルエージェント）からの予約ルートに加えて、エージェントを介さない自社HPからの「直予約」の強化を図っている。

上記で掲載しているデータは、全ての販路を集計しているわけではないが、特に個人旅行の傾向を分析するには有効なものと考えている。

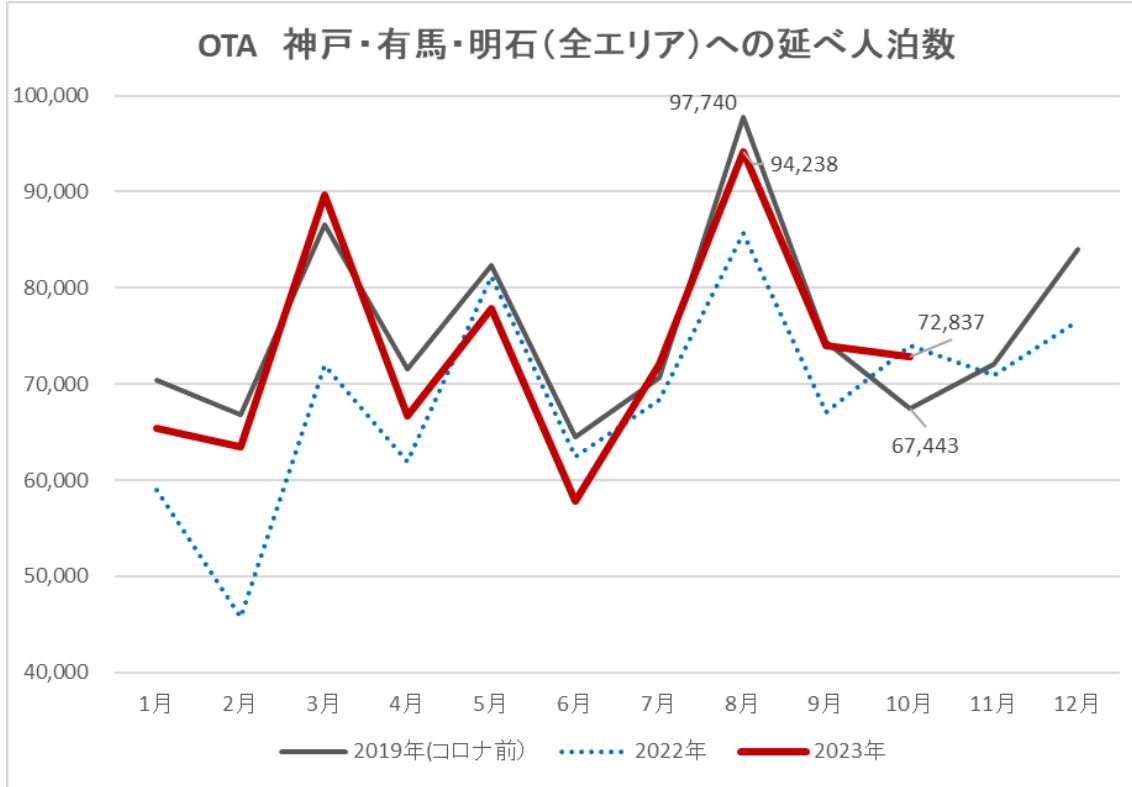
今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

【DATAに関する基本情報】

- ・某大手OTA（Online Travel Agent）経由での延べ宿泊者数実績
- ・神戸市内の宿泊施設 145施設への月別の延べ人泊数（チェックアウトベース）

【グラフA】

（単位：人泊）

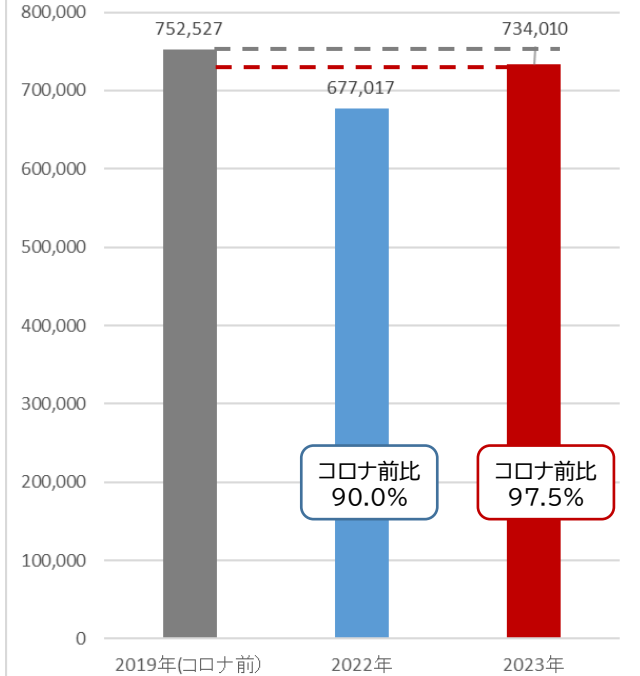


【グラフB】

OTA（単位：人泊）

神戸・有馬・明石（全エリア）

1～10月までの延べ人泊数累計比較



【考察① グラフ〔A〕 2023年度 延べ人泊数の推移】

- ・2023年 1-10月までは、2019年度の季節変動値に近い数値の推移。長らく2019年比▲1%～▲10%で推移していたが10月は+8%。
- ・インバウンドが回復傾向のため、人手不足により販売の部屋数を抑えている宿もあり人泊数は2019年水準に届いていない月もあった。
- ・7月以降は2019年とほぼ同水準。10月は2019年を上回る勢いを見せ、2019年10月(6万7443人泊)の108%にあたる7万2837人泊となった。

【考察② グラフ〔B〕 2023-2019 1～10月延べ人泊数累計の比較】

- ・2023年10月までは、73万4010人泊で、2019年（コロナ前・75万2527人泊）の97.5%まで回復
- ・2022年の10月までの累計（2022年・67万7017人泊）と比較すると、前年比108.4%。
- ・コロナ禍が明けてきたこともあり、2022年と比較すると順調に回復してきている。

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング



【予約】

黒太字は
2023-2019年比（ ）内は同時点の2023-2022年比

【神戸市】

2019年比
〔取扱額〕

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
全市						
11.12時点	134.4% (117.1%)	129.8% (103.3%)	140.8% (130.2%)	178.9% (206.9%)	190.8% (192.8%)	129.7% (206.5%)
10.22時点	139.7% (107.5%)	129.0% (93.4%)	138.7% (124.4%)	165.9% 218.7%	173.7% 187.3%	—
市街地						
11.12時点	136.7% (117.3%)	125.5% (109.7%)	155.2% (155.1%)	161.9% (188.2%)	204.2% (218.0%)	96.9% (228.6%)
10.22時点	133.9% (108.1%)	117.5% (98.3%)	150.1% (150.2%)	137.8% 195.9%	175.1% 220.6%	—
有馬						
11.12時点	117.8% (111.9%)	119.3% (96.0%)	120.9% (110.7%)	187.2% (225.7%)	165.8% (168.2%)	183.9% (328.7%)
10.22時点	131.0% (99.8%)	129.2% (88.8%)	124.0% (106.1%)	217.7% (302.5%)	162.1% (194.5%)	—

【他エリア比較】

2019年比
〔取扱額〕

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
淡路島						
11.12時点	142.1% (112.8%)	150.6% (87.0%)	166.0% (98.5%)	274.1% (137.3%)	247.8% (113.0%)	290.3% (94.4%)
10.22時点	158.7% (92.5%)	170.1% (76.2%)	165.7% (94.6%)	322.7% 128.5%	356.2% 106.0%	—
城崎						
11.12時点	117.6% (111.2%)	116.7% (98.1%)	140.1% (112.7%)	187.5% (154.9%)	208.1% (154.1%)	353.9% (192.2%)
10.22時点	135.1% (100.9%)	125.0% (86.6%)	136.2% (105.2%)	184.3% 161.6%	222.8% 154.4%	—
大阪市エリア						
11.12時点	169.3% (101.8%)	179.6% (99.4%)	159.3% (147.7%)	186.0% (237.1%)	219.5% (221.4%)	266.0% (268.1%)
10.22時点	182.9% (133.3%)	173.7% (122.2%)	145.5% (168.2%)	165.3% 271.1%	186.8% 270.2%	—
京都市エリア						
11.12時点	136.0% (116.4%)	157.3% (126.8%)	145.2% (135.0%)	179.0% (213.5%)	188.4% (245.4%)	133.6% (189.4%)
10.22時点	141.0% (115.8%)	153.8% (125.8%)	138.7% (139.4%)	164.7% 220.8%	178.1% 262.3%	—
東京23区エリア						
11.12時点	142.4% (122.5%)	166.4% (129.7%)	174.7% (179.7%)	192.7% (235.9%)	184.2% (235.9%)	161.7% (276.2%)
10.22時点	154.9% (133.0%)	168.3% (140.3%)	170.8% (200.3%)	189.8% 266.3%	172.6% 255.3%	—

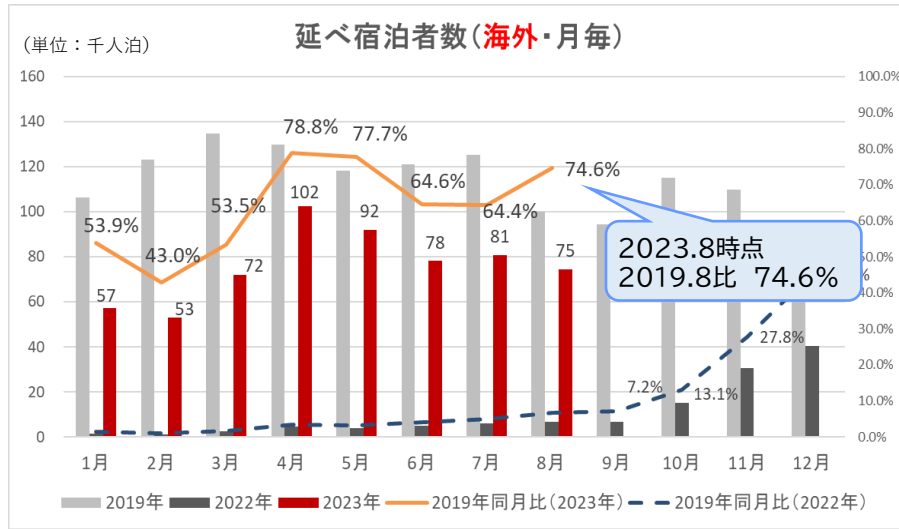
- 神戸市全域における先予約は、年末の12月が129%。年始を含む1月が140%と堅調。更に、2月：178.9%、3月：190.8%、4月：129.7%と春先の予約も好調な動きが見られる。エリア別にみると有馬よりも市街地の方が先予約の傾向がより強くみられた。2024年1月は、ルミナリエの開催も予定されており市街地を中心とした宿泊予約の動向に注目したい。
- ここ数か月の傾向だが、訪日外国人客（インバウンド）の予約数が増加する中で、国内旅行者向けの客室提供への影響も出てきており、その影響で国内旅行者の早期予約を後押ししているとも考えられる。
- 神戸以外のエリアも含め、引き続き10月以降も好調に推移しているが、要因としては客単価の伸びが全エリアで生じている。（単価増の影響としては、①高単価な新規ホテルの増加、②ビジネスなども含めた需要回復によるホテルの稼働率増、③人件費・食材費・委託費等原価の上昇）
- 特に2月・3月が好調な淡路島・城崎では、コロナ前よりも宿泊施設がリードタイムを伸ばすような取り組み（ゴールド会員限定のプラン販売、〇〇日前までの予約でお得など）が増えていることも相まって伸びが顕著になっている。

定点観測

(延べ宿泊者数／市内ホテル平均稼働率)

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【インバウンド比較】 ※R5.8まで

【兵庫県】



※神戸市の延べ宿泊者数については、取得元(観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」)の数値が安定していないため、掲載保留中

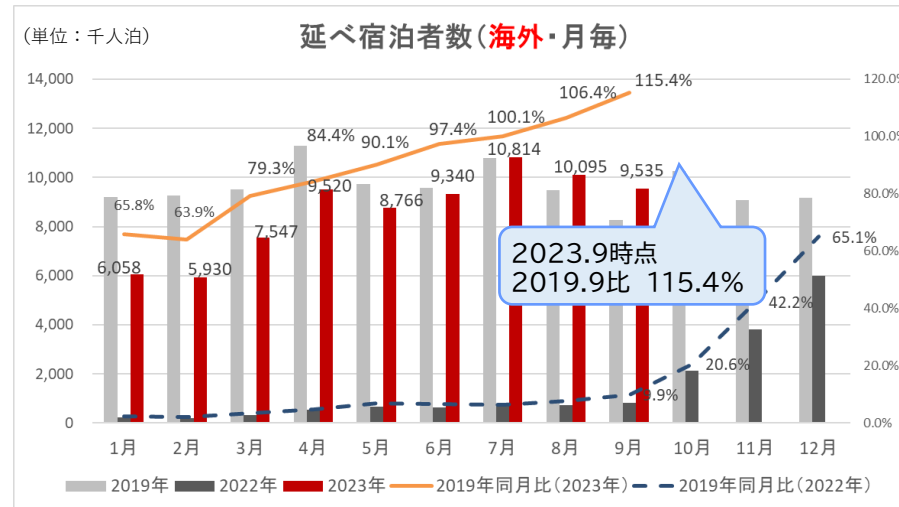
傾向

兵庫県	コロナ前比 約7割(8月) 全国の回復状況と比較すると、回復鈍化
全国	コロナ前比 約10割超(7月~) 全国的にはコロナ前を超えて回復

※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

【全国】

※R5.9推計値まで



【分析コメント】

- 全国の外国人延べ宿泊者数がコロナ前を超える勢い。国籍別内訳では、1位 中国、2位 台湾、3位 韓国。多くの国で2019年を上回る回復率を見せており、特に2019年同月比で最も伸びたのはカナダ(2019比+101.5%増)、韓国(+98%増)。
- 都道府県別では、トップ3は、依然、**東京、大阪、京都**。これらトップ3はコロナ前を超えて回復。東京はコロナ前の1.5倍。
- 兵庫県は全国17位。2019年8月比では7割程度の回復率。
- 依然、地域・都道府県によって回復率にかなりのばらつきが生じている。

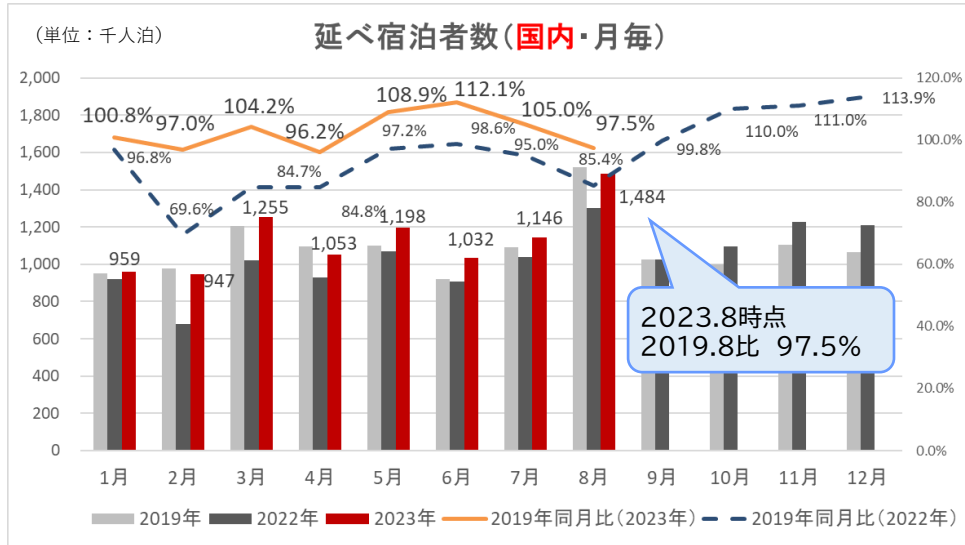
出典: 【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」

- ・令和5年8月 第2次速報値
- ・令和5年9月 第1次速報値

👉【全国】外国人延べ宿泊者数
国籍別は[41ページ](#)、都道府県別は[42ページ](#)へ

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【国内比較】 ※R5.8まで

【兵庫県】



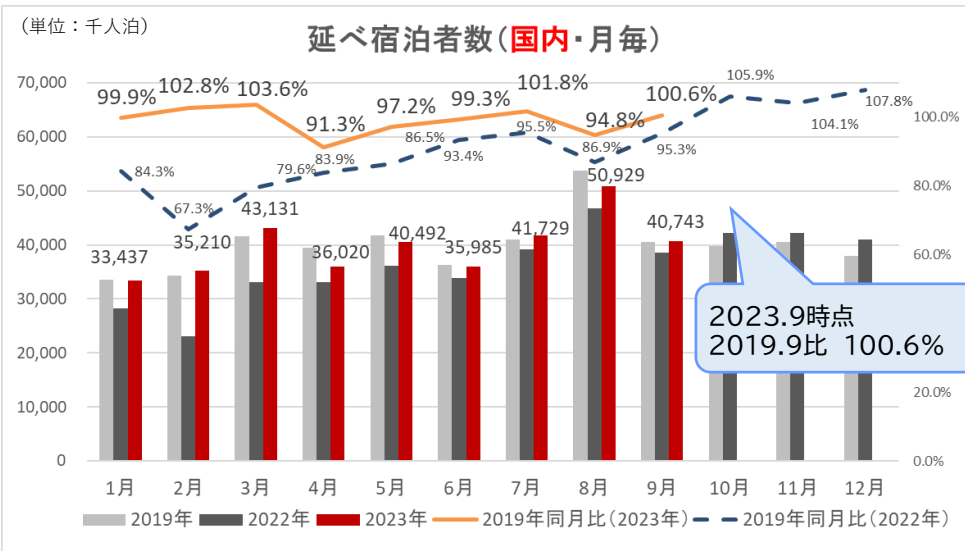
※神戸市の延べ宿泊者数については、取得元（観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」）の数値が安定していないため、掲載保留中

傾向

兵庫県
・全国

コロナ前比と同水準に回復

【全国】 ※R5.9推計値まで

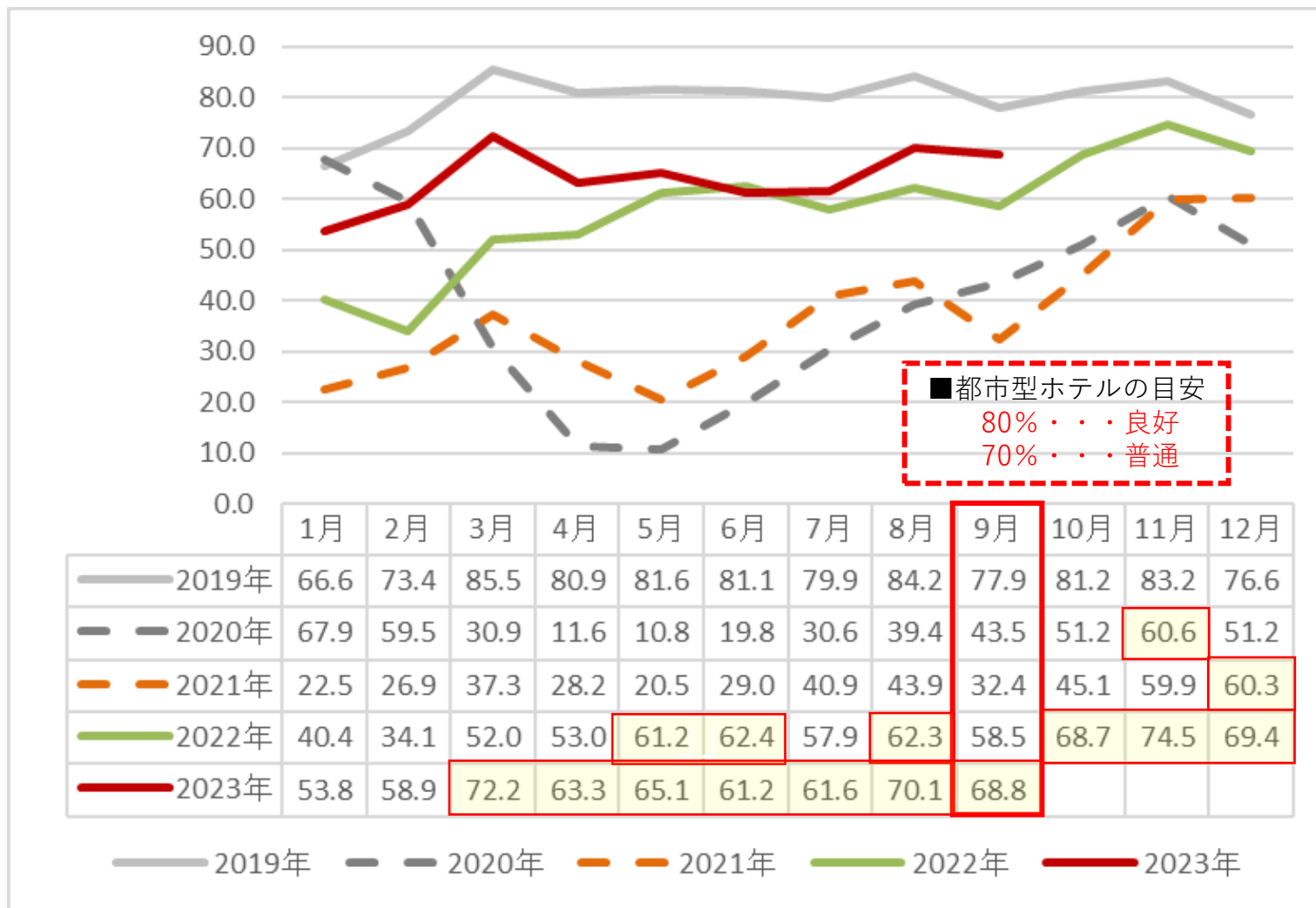


※コロナ前比較：2019.1～2019.12をベースに同月比較

出典：【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」
 ・令和5年8月 第2次速報値
 ・令和5年9月 第1次速報値



市内ホテル平均稼働率



※10社ベース

【参考】英調査会社STR発表
9月 国内ホテル稼働率

全国：75.1%
(前月比 ▲0.6pt)

9月のホテル平均稼働率は、前月比0.6ポイント低い75.1%となった。客室平均単価は1万7316円で11%下がった。稼働率はほぼ横ばいを維持し、夏の最繁忙期が終わったことで単価が下がった。前年同月に比べると単価は36%高い。欧米からの長期滞在など訪日客の回復が影響している。

インバウンド情報

(訪日外客数／ターゲット国の傾向分析)

2023年月別訪日外客数(対2019年比)

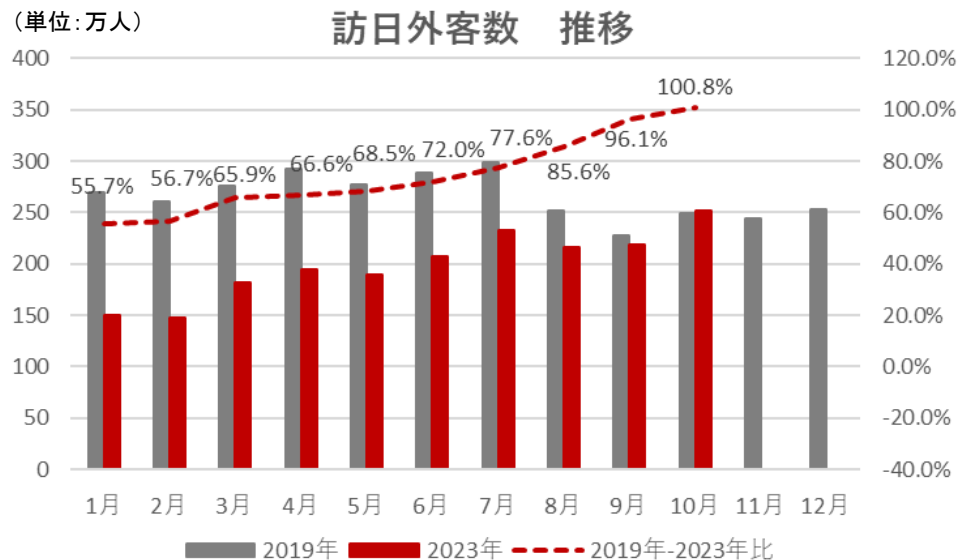


訪日外客数(全国)			
	2019	2023	2019比
8月	2,520,134名	2,157,190名	85.6%
9月	2,272,883名	2,184,300名	96.1%
10月	2,496,568名	2,516,500名	100.8%

- ・10月は250万人を超え、**新型コロナ拡大後初めて2019年同月比を超えた。**
- ・なお、2023年の累計(1~10月)は2000万人に迫る勢い。
- ・韓国がコロナ前と比較して**3倍の伸び**を見せるなど、外客数を牽引。その他、**東南アジアや北米豪など14市場において、10月として過去最高値を記録。**
- ・一方で観光現場では、急速過ぎる来訪者の回復と人員不足とで、受入体制が追い付かない事態もあり、来訪者のマネジメントが課題になっている。

	訪日外客数 Visitor Arrivals		
	2019	2023	伸率 Change %
1	2,689,339	1,497,472	-44.3
Jan.	(2,345,029)	(1,308,606)	(-44.2)
2	2,604,322	1,475,455	-43.3
Feb.	(2,341,479)	(1,297,458)	(-44.6)
3	2,760,136	1,817,616	-34.1
Mar.	(2,411,650)	(1,582,518)	(-34.4)
4	2,926,685	1,949,236	-33.4
Apr.	(2,640,569)	(1,738,172)	(-34.2)
5	2,773,091	1,899,176	-31.5
May	(2,455,865)	(1,656,118)	(-32.6)
6	2,880,041	2,073,441	-28.0
Jun.	(2,614,533)	(1,882,296)	(-28.0)
7	2,991,189	2,320,694	-22.4
Jul.	(2,713,329)	(2,108,438)	(-22.3)
8	2,520,134	2,157,190	-14.4
Aug.	(2,206,746)	(1,897,129)	(-14.0)
9	2,272,883	2,184,300 *	-3.9 *
Sep.	(1,913,105)		
10	2,496,568	2,516,500 *	0.8 *
Oct.	(2,177,382)		
11	2,441,274		
Nov.	(2,145,425)		
12	2,526,387		
Dec.	(2,292,029)		
1~10	26,914,388	19,891,100 *	-26.1 *
Jan.-Oct.	(23,819,687)		
1~12	31,882,049		
Jan.-Dec.	(28,257,141)		

訪日外客数のうち、*印の値は暫定値、その他の値は確定値。



2022.6.10~ 添乗員付きパッケージ

ツアーに限定した訪日観光が再開。

9/7~ ワクチン3回接種を条件に入国時陰性証明不要、添乗員無しパッケージツアーの容認、1日当たり入国上限を5万人に。

10/11~ 1日当たりの入国者数の上限撤廃、短期ビザ免除、個人旅行解禁。入国時検査や待機もワクチン3回接種証明が陰性証明で原則撤廃。

2023.4.29~ 新型コロナウイルス5類化に伴い、日本の出入国者に求めているワクチン3回接種証明や陰性証明の提出が不要に。

○水際対策(厚労省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

出典: 日本政府観光局(JNTO) 11/15プレスリリース「訪日外客数(2023年10月推計値)」

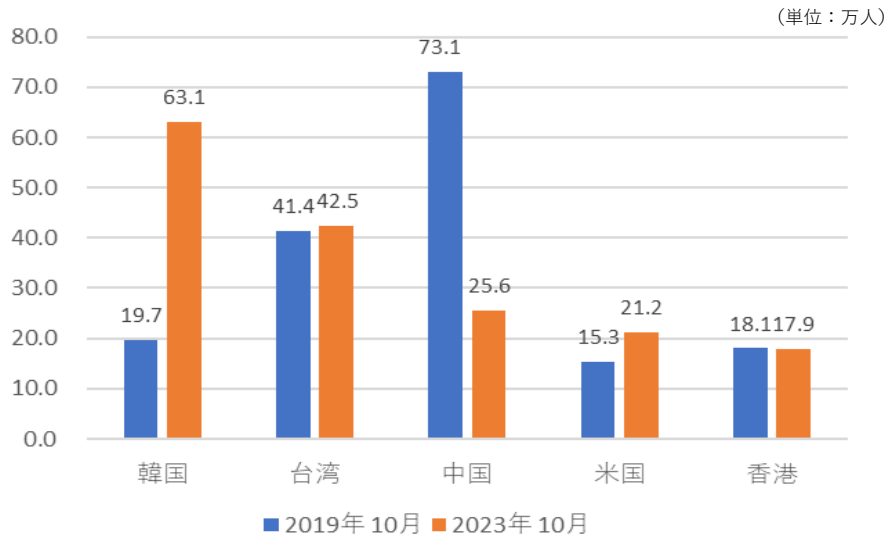
2023年10月訪日外客数の各国・地域別ランキング(対2019年比)

国・地域	総数				2023 総数			
	2019年 10月	2023年 10月	(順位)	2019比 (%)	2019年 1月～10月	2023年 1月～10月	(順位)	2019比 (%)
韓国	197,281人	631,100人	(1位)	319.9%	5,131,596人	5,525,900人	(1位)	107.7%
台湾	413,701人	424,800人	(2位)	102.7%	4,150,231人	3,399,400人	(2位)	81.9%
中国	730,631人	256,300人	(3位)	35.1%	8,133,209人	1,854,200人	(3位)	22.8%
米国	153,363人	211,900人	(4位)	138.2%	1,430,370人	1,677,900人	(4位)	117.3%
香港	180,562人	179,300人	(5位)	99.3%	1,841,448人	1,662,800人	(5位)	90.3%



韓国がコロナ前と比較して約3倍と、伸びが顕著。アメリカは約1.4倍。

訪日外客数 各国・地域別ランキング



10月動向

- 10月の訪日外客数は、2019年同月比100.8%の2,516,500人となり、**新型コロナウイルス感染症拡大後初めて2019年同月を超えた。**
- シンガポールをはじめとした東南アジア、また米国やドイツなどを含む欧米豪地域等において訪日外客数が増加したことが今月の回復率の押し上げ要因となった。なお、国際線定期便に関しては、2023年ダイヤ時点においてコロナ禍前の約8割まで運航便数が回復し、その後も東アジアを中心に増便・復便が続いている。
- 23市場のうち**14市場**（韓国、台湾、シンガポール、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、豪州、米国、カナダ、メキシコ、ドイツ、イタリア、スペイン）**において10月として過去最高を記録**したほか、カナダ、メキシコ、ドイツにおいては単月過去最高を更新した。
- 個人観光再開から1年が経過し、訪日外客数は堅調に回復をしているところ、今後も、「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」の実現に向け、市場向を綿密に分析しながら、訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

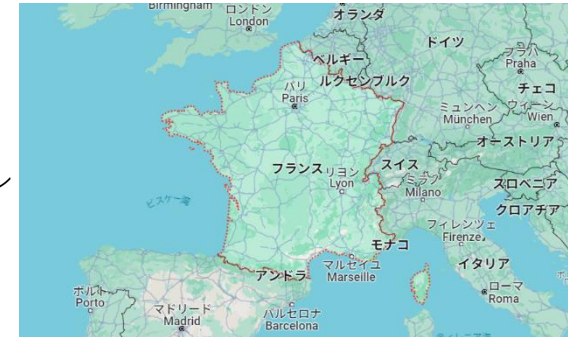
主要ターゲット国の旅行行動傾向分析 ～フランス～



by KTBインバウンドTM



- ・人口・・・6,527万人(2020年12月)
- ・GDP(1人当たり)・・・2019：4万2千米ドル → 2021：4万5千米ドル
(cf. 日本 2019：4万1千米ドル → 2021：3万9千米ドル)
- ★国際旅行支出・・・2017：442億米ドル → 2018：495億米ドル → 2019：505億米ドル
- ★訪日旅行者数・・・2017：27万人 → 2018：30万人 → 2019：33万人



- ・訪日旅行者の性別・年代・・・2019 男性：女性 = 61:39 / 全体の約6割が10～30代
2021 男性：女性 = 72:28 / 全体の約5割が10～30代 ※男性の40代の割合が急増(12%→20%)
- ・情報収集媒体・・・① [Routard](#)(31.3%) * 旅行予約・情報サイト ② [TripAdvisor](#)(30.1%) ③ [National Geographic](#) (25.7%)



<フランスの効果的なWebプロモーション>

ユーザー数調査の上位3つ(FB4,000万人、WhatsApp3,100万人：連絡系アプリ、Insta2,800万人)の結果から、発信系SNSの中では、FacebookおよびInstagramが有効である。ただし、フランスから日本への渡航費は決して安くはないため、実際に訪日に繋がりがやすいのは、貯金のある世代(50代以上)がメインとなる。その層は、主に上記の旅行媒体やテレビ等から情報を得ることが多いため、マスメディアや雑誌でのプロモーションを展開することも求められる。

神戸観光局海外ネットワーク拠点よりフランスの最新情報等

・フランス人の最新旅行トレンド(訪日以外のトレンドも含む)

国内外問わず、旅行需要は2019年の同水準以上に回復(国内+2%、中距離海外+32%)している。ただし、現在のところ、物価高や日本を含む長距離路線の航空券価格高騰に伴い、日本への旅行はハードルが高い状況(アジア・太平洋行きの航空券予約-26%、日本の航空券平均価格は豪州に次ぐ2番目の高さ)となっており、国内・近距離国内が旅行トレンドの中心となっている。

しかしながら、日本食レストランは軒並み行列で、日本食の複合施設がパリ中心部に新たにオープンするなど、日本食への関心は依然として高く、今夏の旅行先検索都市ランキングの4位に東京が位置するなど、日本旅行への関心も高いので、航空券価格の落ち着きが鍵となってくる。

・神戸観光局の動き

主に、料理や食をテーマにした旅をメインとするトップブロガーAnne Lataillade氏を招請した情報発信(ブログ：<https://www.papillesetpupilles.fr/?s=kobe>)、欧州最大級のB to B 旅行商談会「IFTM Top Resa 2023」に出展するなど、「神戸ビーフ」「灘の日本酒」を中心に、神戸の食の魅力とストーリーを訴求しています。

交通機関に関する情報
(航空業界の状況／クルーズ船寄港状況)

関西国際	2023年 7月	8月	9月
総旅客数(人)	2,123,912	2,265,940	2,101,187
2019年比	▲24%	▲29%	▲15%
国際線 発着数(回)	9,663	9,903	9,918
2019年比	▲30%	▲28%	▲22%
国際線 旅客数(人)	1,525,938	1,646,852	1,494,602
2019年比	▲30%	▲26%	▲20%
うち外国人 旅客数(人)	1,202,909	1,211,871	1,114,589
2019年比	▲22%	▲12%	▲4%
国内線 旅客数(人)	597,974	619,088	606,585
2019年比	▲2%	▲6%	+2%

神戸	2023年 7月	8月	9月
国内線 発着数(回)	3,059	2,919	2,897
2019年比	+19%	+7%	+4%
国内線 旅客数(人)	290,661	313,651	296,352
2019年比	+3%	▲5%	▲2%

< 関西国際空港・神戸空港の状況 >

- ・9月の関西国際空港における航空旅客数は、前月比92.7%。コロナ禍前(2019年比)85%となっている。
- ・外国人旅客数の9月は前月比92%、6か月ぶりに減少した。
- ・神戸空港発着回数は、2019年比104%、前月比微減(99%)。旅客数は2019年比98%となり、若干の減少。
- ・神戸～新潟便が運休。

📄 [直近1年間の関西国際空港・神戸空港の利用状況は45ページ](#)、
[2023年8月までの神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率は46ページへ](#)

出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。



関空国際線就航状況・入国状況 ～KTBターゲット12か国～ 11月22日時点

国際線就航状況 (便数)	2020年 1月	2023年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
英国	3	0	0	0	0	0	0	0
フランス	6	5	5	4	4	4	3	3
豪州	12	5	5	5	7	7	7	5
米国	78	11	11	11	11	14	14	14
中国	630	125	161	157	197	213	227	221
台湾	169	101	101	94	112	119	112	112
香港・マカオ	117	118	82	96	94	96	134	124
韓国	244	282	246	296	263	310	325	313
タイ	47	36	36	42	42	43	47	47
マレーシア	14	15	18	18	18	21	21	21
インドネシア	9	0	0	0	0	0	0	0
シンガポール	116	14	21	21	21	21	21	28

※1週間に就航している便数

ターゲット12か国合計、前月比97.5%

6月以降増加していたが
今月は若干の減少

※11月22日現在の運行状況
(過去の月は本レポート更新時の運行状況)

出典: 関西エアポート発表情報より作成

入国状況 (人数)	2020年 1月	2023年 5月	6月	7月	8月
英国	3,526	3,316	2,671	3,618	3,087
フランス	2,271	5,441	3,374	4,556	3,866
豪州	11,956	6,090	5,653	4,118	3,498
米国	12,756	23,048	29,567	20,859	13,484
中国	328,191	58,039	92,662	124,678	151,351
台湾	102,205	79,576	101,540	99,848	100,327
香港	51,421	46,007	51,857	61,447	57,539
韓国	85,174	172,775	173,348	190,709	173,645
タイ	22,458	23,342	14,466	14,669	9,105
マレーシア	11,684	10,642	7,220	5,167	5,883
インドネシア	8,866	6,611	8,762	6,226	4,349
シンガポール	6,237	14,145	15,370	6,290	4,706

ターゲット12か国合計、前月比97.9%

- ランキング及び前月比
 - ・1位 韓国：91%
 - ・2位 中国：121% (15万人超)
 - ・3位 台湾：100.4%
- 米国が前月より大幅な減少 (前月比 64.6%)
- 国内の夏休みシーズンということもあり、全体的に前月を下回る国が多い中、東アジア以外では、マレーシアが前月比113.9%と、若干だが増加傾向がみられた。

前月比 110.8%

※2023.10月速報値
関空入国者数：655,571人 (9月：591,610人 8月：591,846人)

出典: 総務省「出入国管理統計」より抜粋

【クルーズ船寄港状況】 ポートターミナル・中突堤

		10月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
総合計	隻数	20	16	14	125%	143%	70	119	150	59%	47%
	船客数	16,473	3,641	14,700	452%	112%	56,745	26,683	180,727	213%	31%
ポートターミナル		10月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	13	15	7	87%	186%	49	111	94	44%	52%
	船客数	12,735	3,295	11,842	386%	108%	45,354	22,875	142,298	198%	32%
日中国際フェリー (新釜真・蘇州號)	隻数	4	5	2	80%	200%	26	52	28	50%	93%
	船客数	0	0	202	-	0%	0	0	2,526	-	0%
日本船 (内航)	隻数	2	9	3	22%	67%	3	53	11	6%	27%
	船客数	2,808	3,291	1,922	85%	146%	2,698	18,387	7,385	15%	37%
日本船 (外航)	隻数	0	1	0	0%	-	0	2	3	0%	0%
	船客数	0	4	0	0%	-	0	20	1,262	0%	0%
外国籍船	隻数	7	0	2	-	350%	20	4	52	500%	38%
	船客数	9,927	0	9,718	-	102%	42,656	4,468	131,125	955%	33%
中突堤旅客ターミナル		10月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	7	1	7	700%	100%	21	8	56	263%	38%
	船客数	3,738	346	2,858	1080%	131%	11,391	3,808	38,429	299%	30%
日本船 (内航)	隻数	2	1	6	200%	33%	11	3	42	367%	26%
	船客数	1,218	346	2,602	352%	47%	6,348	773	29,813	821%	21%
日本船 (外航)	隻数	2	0	0	-	-	1	0	5	-	20%
	船客数	1,229	0	0	-	-	640	0	2,286	-	28%
外国籍船	隻数	3	0	1	-	300%	9	5	9	180%	100%
	船客数	1,291	0	256	-	504%	4,403	3,035	6,330	145%	70%

■全体

10月はR4年度比で隻数+4、船客は+12,832。R1年度比で隻数+6、客数は+1,773。

当月度だけではあるが隻数、客数ともにコロナ禍前の水準を上回った。

■ポートターミナル

10月の入港実績は13。内訳は定期船の日中国際フェリーが4、外国船の「CELEBRITY MILLENNIUM」が2「SPECTRUM OF THE SEAS」が1、「SEVENSEAS EXPLORER」が2、「ZHAO SHANG YI DUN」が2、日本船の「飛鳥II」が2。

■中突堤

10月の入港実績は7。外国船の「SILVER WHISPER」が2、「REGATTA」が1。日本船の「にっぽん丸」が3、「飛鳥II」が1。

【クルーズ船】12月の入港予定情報

12月は延べ7隻が入港予定！

・神戸寄港最大級の「MSCベリッシマ」が12/22に寄港！（神戸寄港は5回目）

客船名	寄港日時	総トン数	乗客定員 ※クルーは含めず	主な乗客 ※予測	ランク	入港場所
にっぽん丸	12/4(月)11:00～21:00	22,472トン	400名	日本人	プレミアム	中突堤旅客ターミナル
パシフィックワールド	12/5(火)7:00～13:00	77,441トン	1,950名	日本人他	カジュアル	ポートターミナル
にっぽん丸	12/9(土)9:00～17:00	22,472トン	400名	日本人	プレミアム	中突堤旅客ターミナル
パシフィックワールド	12/12(火)18:00～12/13(水)12:00	77,441トン	1,950名	日本人他	カジュアル	ポートターミナル
MSCベリッシマ	12/22(金)14:00～23:59	171,598トン	4,418名	日本人他	カジュアル	ポートターミナル
にっぽん丸	12/22(金)17:30～20:00	22,472トン	400名	日本人	プレミアム	中突堤旅客ターミナル
にっぽん丸	12/25(月)13:30～15:00	22,472トン	400名	日本人	プレミアム	中突堤旅客ターミナル

※寄港時間の詳細（入港時間・出港時間）は、天候等により変更になる場合があります。最新情報は神戸市港湾局ホームページにてご確認ください。

神戸市：客船入港予定 (kobe.lg.jp)

※本資料では参考として客船の「定員数」を掲載しています。実際の「乗船客数」とは異なりますのでご注意ください。

※客船のランクについてはクルーズの価格帯で分類され、一般的に ラグジュアリー>プレミアム>カジュアルの順となります。



▲パシフィックワールド



▲MSCベリッシマ

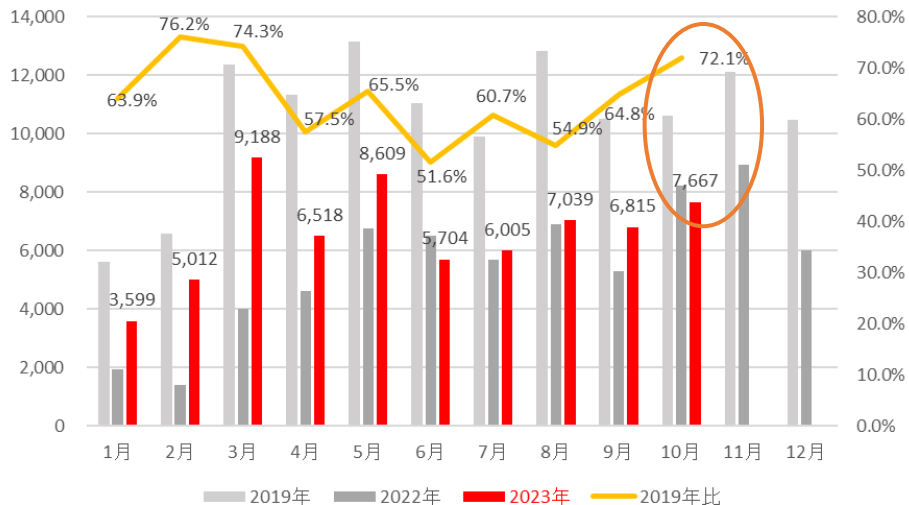


▲にっぽん丸

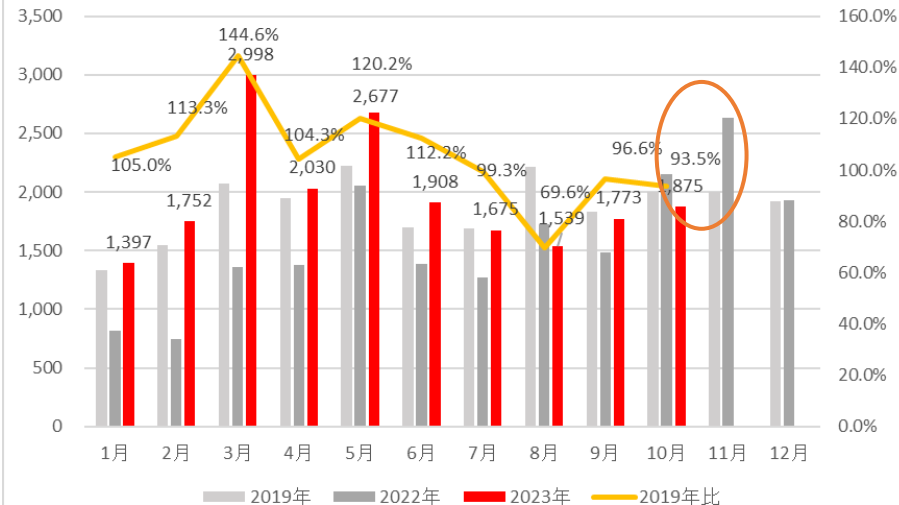
神戸市内観光に関する情報
～神戸観光局オリジナルデータ～

市内観光案内所 国内観光客案内件数 (2023.10)

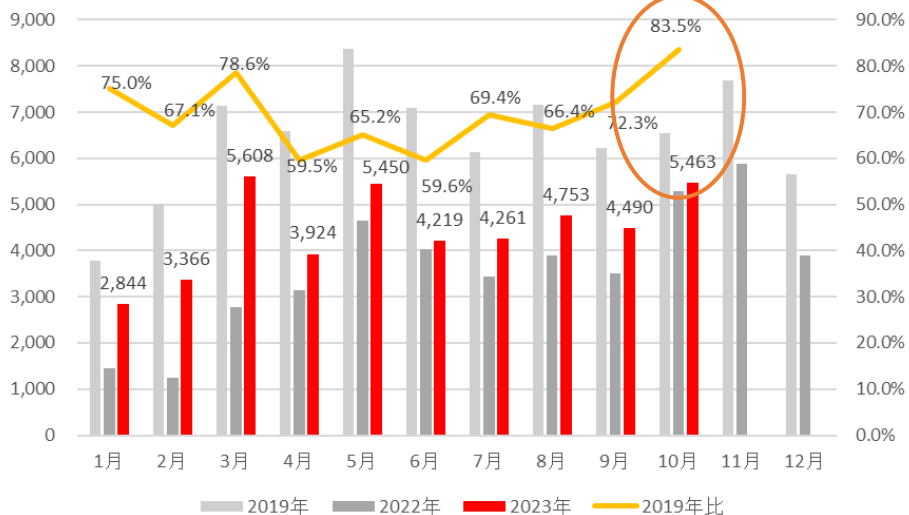
総合IC



北野



新神戸



○総合インフォメーションセンター (JR三宮駅東口南)

気候が良くなり平日含めシニア層も多数訪れている。

○北野観光案内所 (北野異人館街)

北海道から九州まで広いエリアから来神。
特に関東方面からの観光客が多い印象。

○新神戸駅観光案内所 (JR新神戸駅構内、改札前)

布引の滝・ハーブ園や、登山に関する案内多数。

10月案内所全体件数 14,985件 ⇒ 前月比 114% 2019年比 78.2%

市内観光案内所 観光客対応概況 (2023.10～2023.11)



○ 総合インフォメーションセンター

9-18時の時短営業

- 〔件数状況〕 ・ 10月中下旬～11月中旬は平日555件ほど・休日715件ほど。
- 〔客層〕
 - ・ 休日・平日に関係なく、国内観光客の年配層が多数来館。
 - ・ アジア系、欧米系共に個人旅行が目立つ。
- 〔行き先〕
 - ・ 国内、みなとHANABI・夜景スポット・六甲ミーツアート・紅葉スポットなど
 - ・ アジア系、有馬温泉・六甲山・摩耶山・アウトレット・ハーブ園・アトアなど。
 - ・ 欧米系、布引の滝・アンパンマンミュージアム・淡路島・安藤忠雄建築・県美など。
- 〔内容〕
 - ・ 「六甲山の茶屋ガイドマップ」の要望多数。
 - ・ 「酒蔵探訪」「ジャズの街神戸」での来館多く、**イベント関連の情報発信が浸透**している。

○ 北野観光案内所

通所営業時間

9-18時 (3月～10月)

9-17時 (11月～2月)

- 〔客数状況〕 ・ 10月中下旬～11月中旬は平日105件ほど・土日145件ほど。
- 〔客層〕
 - ・ 国内観光客は、北海道・東京・神奈川・愛媛・広島・福岡など広域。
 - ・ インバウンドは、中国・台湾のアジア系が多い。韓国からの修学旅行生も。
- 〔行き先〕
 - ・ 国内、六甲山・ハーブ園・北野工房・メリケンパーク・南京町・酒蔵など。
 - ・ アジア系、各異人館・ハーブ園・生田神社・バイエリアの夜景スポットなど。
 - ・ 欧米系、布引の滝・ハーブ園・神戸ビーフのお店・安藤忠雄建築・美術館など。
- 〔内容〕
 - ・ 異人館巡り後に花火を見たいという問合せ、11月には紅葉スポットの案内。
 - ・ **韓国からの修学旅行の団体が訪れている。**

○ 新神戸駅観光案内所

9-17時の通常営業

- 〔客数状況〕 ・ 10月中下旬～11月中旬は平日235件ほど、土日310件ほど。
- 〔客層〕
 - ・ 国内、家族連れ・シニア層女性グループ、飛鳥II乗船客、学会参加者。
 - ・ インバウンドは、アジア系・客船乗客・個人客・ツアー客。
- 〔行き先〕
 - ・ 国内、市内観光・姫路城・摩耶・六甲・有馬・淡路島、イベントに関連する行先案内など。
 - ・ アジア系、市内観光・ホテルやバス乗場案内、アウトレット・淡路島方面など。
 - ・ 欧米系、布引・ハーブ園、六甲山、摩耶・有馬の問合せ多数。
- 〔内容〕
 - ・ ハイキングシーズンで、**布引の滝・ハーブ園のお尋ね多数。**
 - ・ 特に週末は登山・夜景に関する問合せで、六甲山、再度山など。

市内観光案内所 国籍別窓口対応状況 (2023.10)

国・地域	総合IC	北野	新神戸	
アジア	韓国	398	214	38
	中国	511	131	85
	台湾	363	128	76
	香港	175	42	21
	タイ	160	9	73
	シンガポール	70	6	88
	マレーシア	112	17	20
	インドネシア	19	6	31
	フィリピン	47	5	33
	ベトナム	11	0	2
	インド	61	2	30
	パキスタン			3
	バングラデシュ	2		
	その他アジア	1047	4	185
中東	イスラエル	2	5	9
	トルコ			2
	イラン			
	その他中東	15		6
ヨーロッパ	英国	44	13	44
	フランス	53	25	133
	イタリア	7	20	13
	ロシア	3	3	
	ギリシャ	10		
	アイルランド			
	その他ヨーロッパ	422	25	140
アフリカ	南アフリカ共和国			6
	エジプト	1		
	その他アフリカ	1	1	
北アメリカ	米国	101	30	140
	カナダ	29	4	44
	メキシコ	3	1	21
	その他北米	8		
南アメリカ	ブラジル	5		19
	アルゼンチン		2	1
	コロンビア			2
	その他中南米	14		5
オセアニア	オーストラリア	43	14	109
	ニュージーランド	11	2	19
	その他オセアニア	12		
地域不明	3		514	
	(人)	3763	709	1912

〔総合ICより概況〕

- ・外国籍利用者3,763人、前月比122%。
コロナ禍以前2019年同月比64%。
- ・今月も多く外国客船が入港したが、来館される方は少なかった。
大型観光バスを利用して京都・大阪を観光されるケースが多い。
- ・中国人親子の迷子に対して、中国語が話せる当案内所スタッフが対応しすぐに解決。
- ・建築に興味のあるアメリカ人男性へ、市内の安藤忠雄氏の建築物をご案内。

〔北野観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者709人、前月比130%。
コロナ禍以前2019年同月比79%。
- ・アジア系が約80%、うち韓国40%、中国20%、台湾20%、香港10%。
- ・中国人より、北野天満神社、神戸の夜景に関しての問合せがあった。
- ・オーストラリアのご夫婦より外国人墓地の問合せなど。
- ・インバウンドは、まだ圧倒的に増加してはいない。

〔新神戸観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者1,912人、前月比136%。
コロナ禍以前2019年同月比205%。
- ・相談内容は、市内観光と新幹線関連の案内が大半を占める。
- ・神戸ビーフレストランを予約している方は少なく、ほとんどがお勧めのレストラン情報を求められる。
- ・ICカード購入者が増加傾向、駅スタンプが人気。
- ・アジアの旅行者は関西一円の交通切符を求める方が多い一方、西欧系の旅行者は歩くことを厭わず布引の滝やハーブ園など自然を好む傾向。
- ・初訪問の方は神戸ビーフ目的で数時間の滞在、リピーターの方は1日時間をとって来神されることが多い印象。

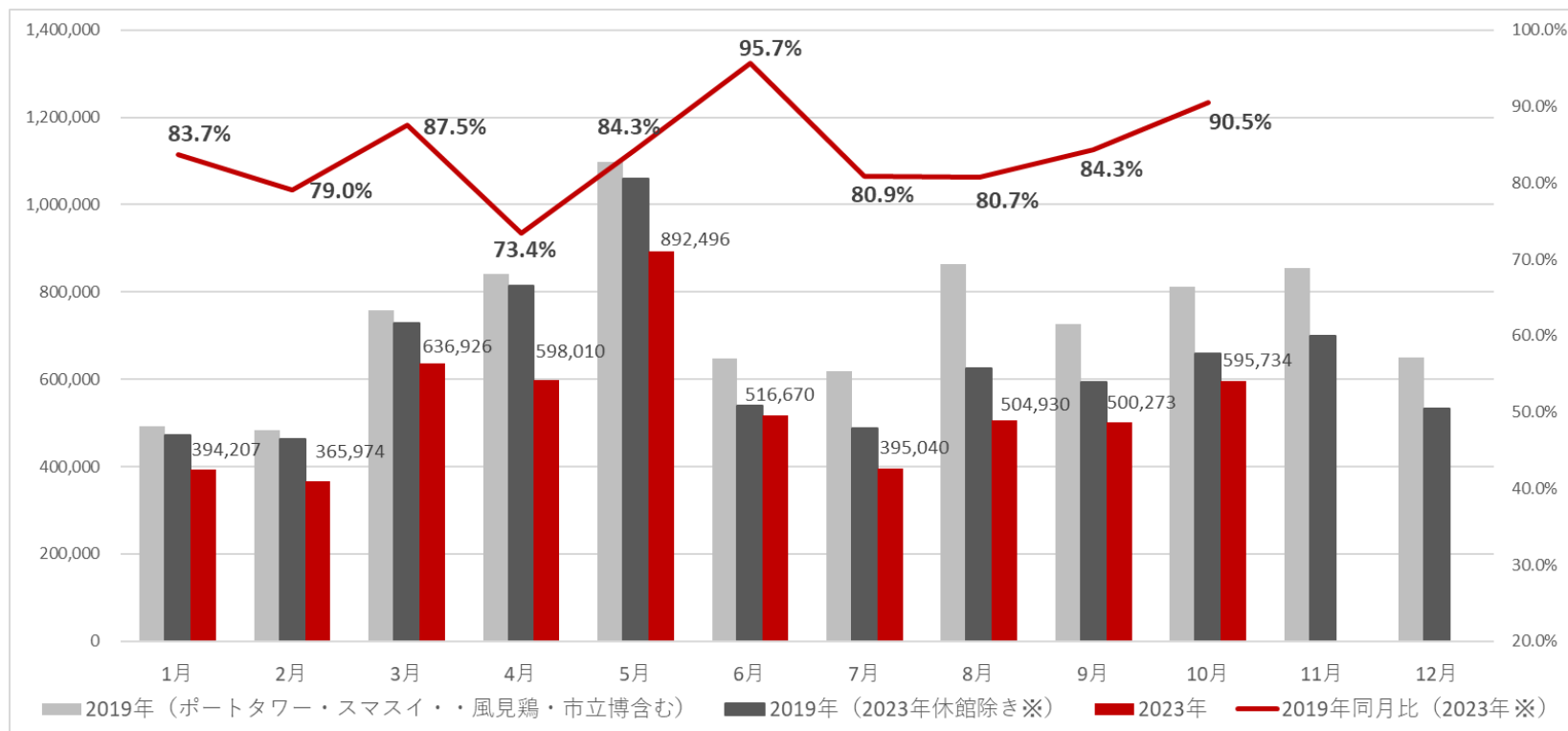
10月案内所全体件数 6,384件 ⇒ 前月比126.5%
2019年比82.5%

主要市内観光施設来場者数（2023.10）

- ・10月の来場者数は、約9割で推移。
※風見鶏の館が10/1～休館しているが、グラフは2023年10月時点で開館中の施設をベースとして、2019年と比較。
- ・修学旅行等の団体客により来場者数が増えている施設もあるが、回復率は施設ごとに少しばらつきがある。
- ・インバウンドは台湾、韓国、米国からの来場者数が目立つ。一部、欧豪、東南アジア（インド）、中国。

来場者数(人)

2019年比



※2019年比は、比較時点で改修中の施設除いて比較（2023年通年：ポートタワー、2023年6月～：スマスイ、2023年10月～：風見鶏の館、神戸市立博物館）
※2019年の来場者数は、2023年時点で改装中の施設を含んだグラフと、含まないグラフ両方を掲載。

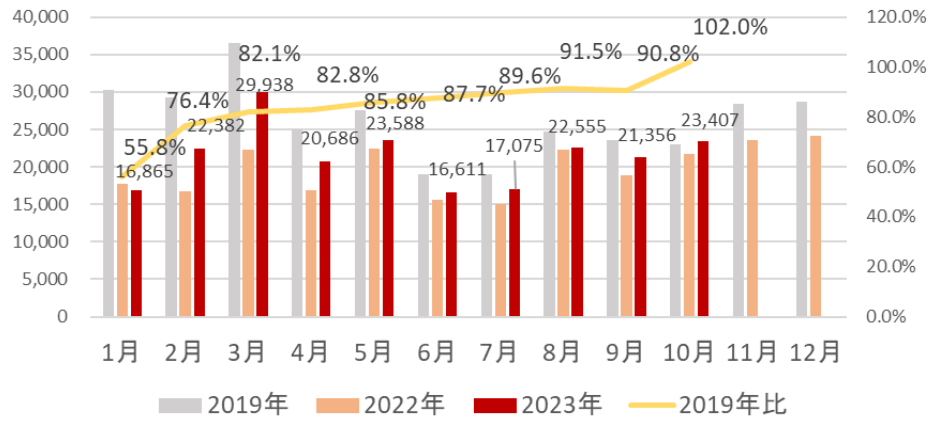
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～12月計
2019年 (ポートタワー・スマスイ・風見鶏・市立博含む)	492,867	483,116	757,624	841,024	1,096,996	647,632	618,160	864,393	727,418	811,994	854,900	650,164	8,846,288
2019年 (2023年休館除き※)	471,003	463,021	727,912	814,300	1,058,835	539,885	488,325	625,884	593,288	658,334	700,275	532,960	7,674,022
2023年	394,207	365,974	636,926	598,010	892,496	516,670	395,040	504,930	500,273	595,734			
2019年同月比 (2023年) ※	83.7%	79.0%	87.5%	73.4%	84.3%	95.7%	80.9%	80.7%	84.3%	90.5%			

出典：神戸市観光企画課・神戸観光局調査

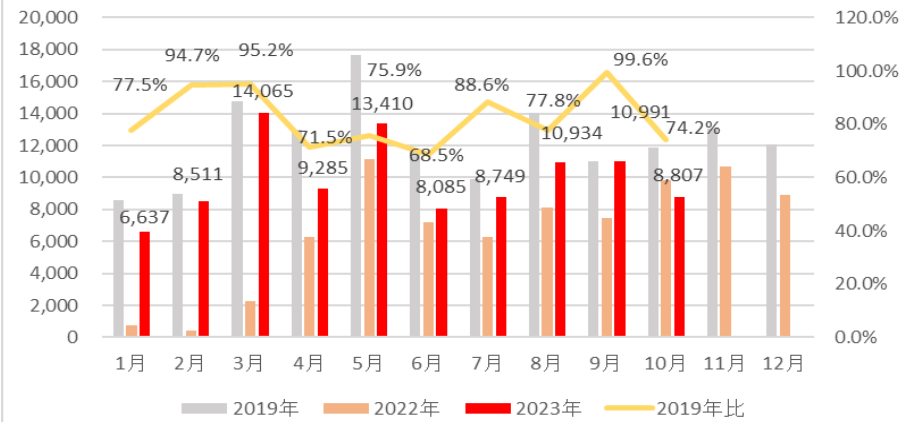
集計対象施設：全19施設(ラインの館、北野工房のまち、王子動物園、神戸どうぶつ王国、神戸布引ハーブ園、六甲山牧場、金の湯、銀の湯、道の駅フルーツ・フラワーパーク大沢など)

所管施設入館者数（金の湯・銀の湯） / （萌黄の館）

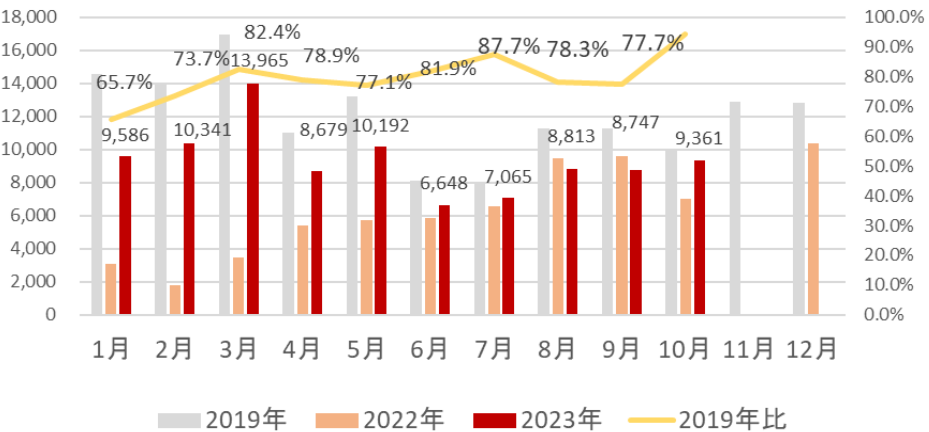
金の湯



萌黄の館



銀の湯



【コメント】

10月来館者数8,807名で、2019年比74.2%。
インバウンド全体は増加傾向、台湾からの旅行者が安定して訪れている。



【コメント】

4月以降徐々にではあるが、2019年の人数に戻りつつあったのが、ようやく金の湯利用者数が2019年実績を上回った。



神戸市内大型施設の主な催事情報(12～1月) 11月22日時点

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



12月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール ※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋
1週目	1～3日 第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会			1日 Tani Yuuki 2日 来生たかお	2日 和太鼓松村組 神戸公演 2023「光輪(こうりん)」	
2週目	6～8日 第46回日本分子生物学会年会 9～10日 CVMW2023 KOBE 心血管代謝週間	6～8日 第46回日本分子生物学会年会 9日 マイナビ仕事研究&インターンシップフェア 神戸会場	5日 SPITZ JAMBOREE TOUR 6日 '23-'24 "HIMITSU STUDIO" 7日 MÅNESKIN Rush! WORLD TOUR 9日 MARSHMELLO JAPAN TOUR 2023	3日 鼓童	9日 市民の第九2023 10日 西神戸吹奏楽団第44回定期演奏会 10日 28th Jr.Dance Collection in KOBE	3日 第29回神戸市西区空手道選手権大会 8～10・15日 近畿私学高校テニス選手権大会 9～10日 フットサルフェスタ2023
3週目	14～16日 第44回日本臨床薬理学会学術総会 第97回日本薬理学会年会	14～16日 第44回日本臨床薬理学会学術総会 第97回日本薬理学会年会		16日 布施明	16日 神戸文化ホール開館50周年記念事業 ハイドン：オラトリオ《天地創造》	16日 神戸市高等学校ソフトテニスインドア大会
4週目	17日 看護薬理学カンファレンス 2023 in 神戸	14～17日 「背景絵師のせかい展」「mocha展-星しるべ-」「PASS THE ART」「スイベル・ギュレー展」「リヤド大回顧展」「クリスマスチャン・リース・ラッセン作品 特別展 極」		23日 初音ミク シンフォニー2023	23～24日 貞松・浜田バレエ団 クリスマス特別公演「くるみ割り人形と秘密の花園」全幕	17日 2023年度兵庫県社会人バスケットボール連盟リーグ戦 21～23日 第41回近畿私立高等学校男女バレーボール選手権大会
5週目			31日 湘南乃風 20周年記念 2023-2024カウントダウンライブ at 神戸～今年も1年皆様お疲れ様でした	24日 ゴンチャロフ製菓株式会社 Presents 第九コンサート2023 28日 角松敏生		25～28日 全国私立中学校テニス選手権大会 26～28日 第14回西日本高専バスケットボール大会
1月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール ※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋
1週目				2～7日 新春吉本お笑いパラエティーショー2024		4～6日 ハンドボール 新春神戸カップ
2週目					7～8日 【神戸文化ホール開館50周年記念事業】ジャズ大名	
3週目		14日 マイナビ看護学生就職セミナー	20～21日 Bリーグ 2023-24 B2リーグ 戦 第17節 神戸ストークスVS、熊本ヴォルターズ		14日 神戸フィルハーモニックニューイヤーコンサート 2024	14日 リアルチャンピオンシップ 全日本少年少女空手道選手権大会
4週目	27日 日本消化器病学会 第120回近畿支部例会	24～25日 2024春夏もの日本シューズ産業見本市 24～25日 第177回 2024夏日本ブランドシューズコレクション&全国サンダルフェア2024	27～18日 Bリーグ 2023-24 B2リーグ 戦 第18節 神戸ストークスVS、岩手ビッグブルズ	21日 桂文珍	21日 第14回 演奏会	26日 近畿児童自立支援施設 男女卓球大会 27日 神戸市教職員卓球交流会
5週目	29～30日 The 6th R-CCS International Symposium				31日 第3回 ノマドオペラ in神戸 歌劇「椿姫」公演	28日 兵庫県少年消防クラブ 交流大会

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

參考資料集

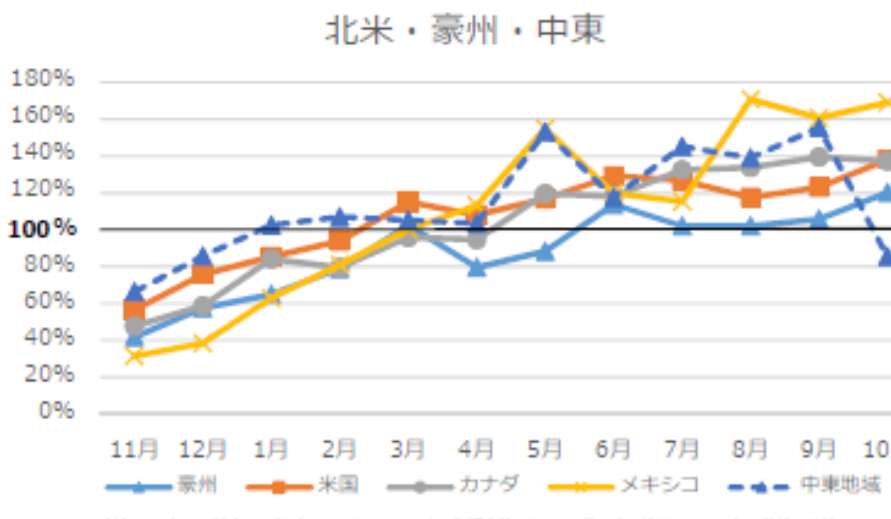
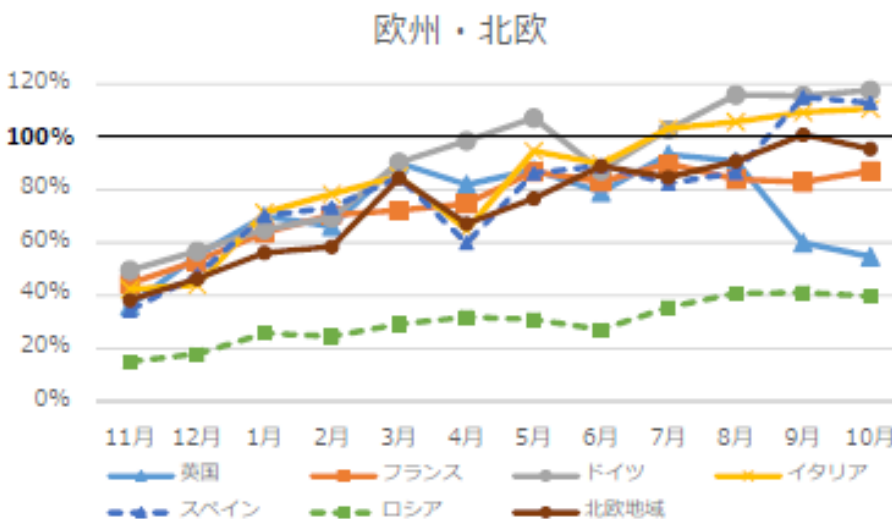
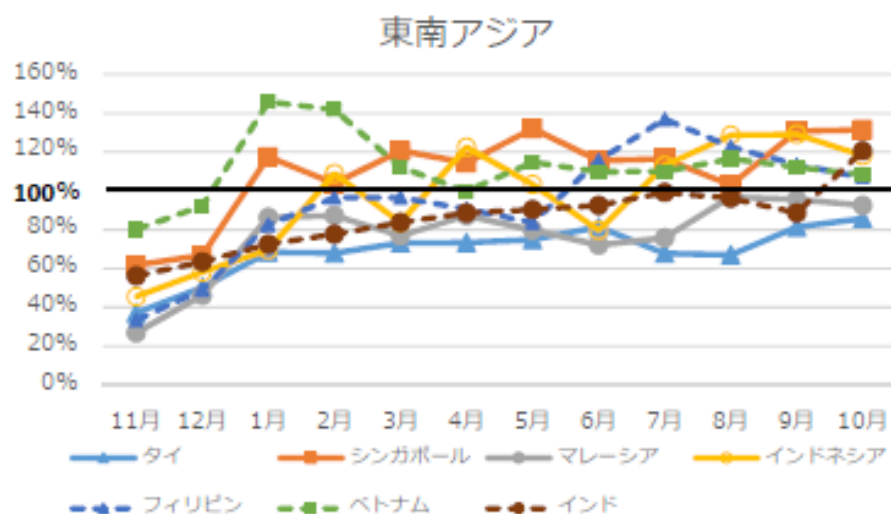
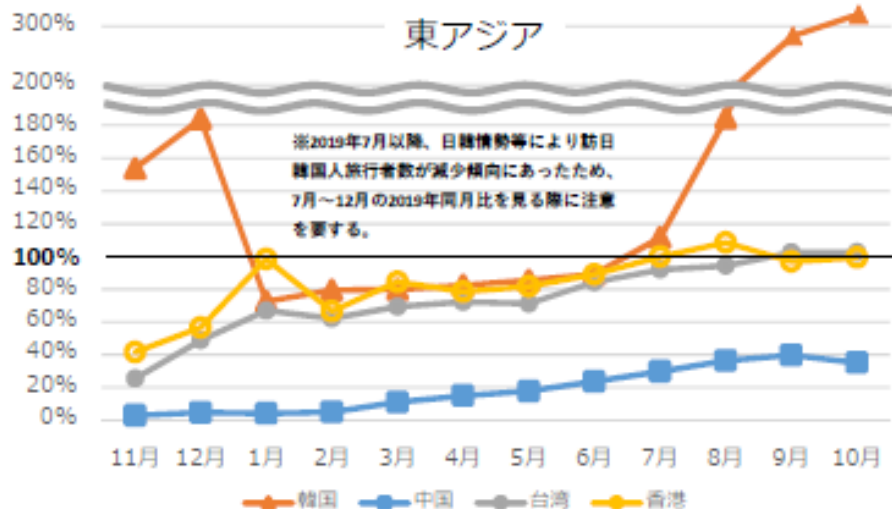
2023年10月訪日外客数の各国・地域別の内訳(対2019年比)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 10月	2023年 10月	伸率(%)	2019年 1月～10月	2023年 1月～10月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,496,568	2,516,500	0.8	26,914,388	19,891,100	-26.1
韓国	South Korea	197,281	631,100	219.9	5,131,596	5,525,900	7.7
中国	China	730,631	256,300	-64.9	8,133,209	1,854,200	-77.2
台湾	Taiwan	413,701	424,800	2.7	4,150,231	3,399,400	-18.1
香港	Hong Kong	180,562	179,300	-0.7	1,841,448	1,662,800	-9.7
タイ	Thailand	145,333	124,600	-14.3	1,013,776	755,700	-25.5
シンガポール	Singapore	41,937	55,100	31.4	326,581	391,500	19.9
マレーシア	Malaysia	48,864	45,200	-7.5	358,355	303,500	-15.3
インドネシア	Indonesia	34,094	40,300	18.2	316,363	323,500	2.3
フィリピン	Philippines	64,690	69,200	7.0	466,809	479,500	2.7
ベトナム	Vietnam	46,510	50,400	8.4	422,553	490,000	16.0
インド	India	13,929	16,800	20.6	149,294	136,300	-8.7
豪州	Australia	51,563	62,000	20.2	500,791	464,000	-7.3
米国	U.S.A.	153,363	211,900	38.2	1,430,370	1,677,900	17.3
カナダ	Canada	37,667	51,700	37.3	306,814	350,400	14.2
メキシコ	Mexico	7,385	12,500	69.3	58,752	75,700	28.8
英国	United Kingdom	68,401	37,400	-45.3	358,820	268,100	-25.3
フランス	France	39,457	34,400	-12.8	291,782	235,500	-19.3
ドイツ	Germany	26,276	30,900	17.6	203,380	203,000	-0.2
イタリア	Italy	14,731	16,300	10.7	139,223	128,300	-7.8
スペイン	Spain	13,739	15,500	12.8	112,413	98,500	-12.4
ロシア	Russia	14,348	5,700	-60.3	98,068	32,800	-66.6
北欧地域	Nordic Countries	15,094	14,400	-4.6	118,974	96,200	-19.1
中東地域	Middle East	11,955	10,200	-14.7	79,770	94,300	18.2
その他	Others	125,057	120,500	-3.6	905,016	844,100	-6.7

※2023年5月の公表から、北欧地域(スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド)の推計値の公表を開始。

※中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

2022年11月～2023年10月訪日外客推移（2019年同月比）



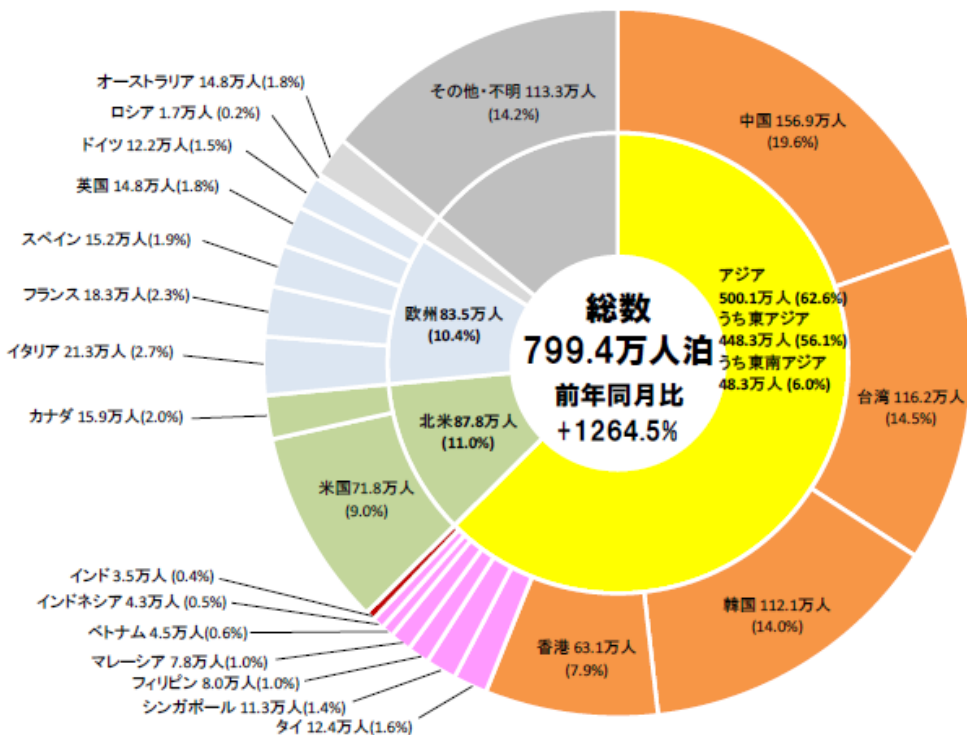
(注) 2020年から拡大した新型コロナウイルスによる影響を除くため、1月以降も繰り返し2019年の数値と比較している。

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（R5.8月）



- 令和5年8月の国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は、第1位が中国、第2位が台湾、第3位が韓国、第4位が米国、第5位が香港で、上位5ヵ国・地域で全体の65%を占める。
- 中国が1位となり着実な回復が見られる。多くの国で2019年を上回る回復率を見せており、特に2019年同月比で最も伸びたのはカナダ(2019比+101.5%増)、続いて韓国(+98%増)、米国(+46.1%増)となっている。

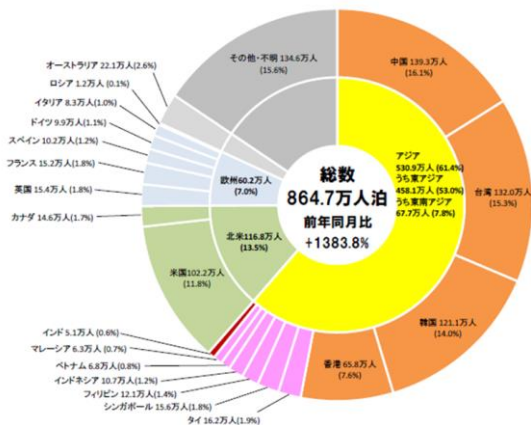
国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数(2023年8月(第2次速報))



順位	国籍(出身地)	合計		2019年同月比	前年同月比
		(人泊)	シェア		
第1位	中国	1,568,510	19.6%	-50.5%	+3459.1%
第2位	台湾	1,162,180	14.5%	+6.6%	+7822.2%
第3位	韓国	1,121,470	14.0%	+98.0%	+1973.0%
第4位	米国	718,280	9.0%	+46.1%	+458.4%
第5位	香港	630,780	7.9%	+7.7%	+6170.2%
第6位	イタリア	212,790	2.7%	+24.1%	+3219.7%
第7位	フランス	182,720	2.3%	+6.2%	+1328.6%
第8位	カナダ	159,390	2.0%	+101.5%	+1983.5%
第9位	スペイン	152,410	1.9%	-0.6%	+3503.1%
第10位	オーストラリア	147,580	1.8%	+38.1%	+1223.6%
第11位	英国	147,500	1.8%	+26.0%	+895.3%
第12位	タイ	124,080	1.6%	-4.1%	+478.2%
第13位	ドイツ	121,980	1.5%	+42.6%	+663.8%
第14位	シンガポール	113,120	1.4%	+15.6%	+649.6%
第15位	フィリピン	80,110	1.0%	+58.5%	+388.8%
第16位	マレーシア	77,600	1.0%	+67.6%	+967.4%
第17位	ベトナム	44,860	0.6%	-14.8%	+117.7%
第18位	インドネシア	43,460	0.5%	+2.8%	+258.0%
第19位	インド	34,880	0.4%	-3.2%	+217.7%
第20位	ロシア	17,140	0.2%	-49.3%	+932.5%
	その他	842,680	10.5%	+12.1%	+685.3%
	合計	7,993,980	100.0%	-2.4%	+1264.5%

【参考】前月分

国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数(令和5年7月(第2次速報))



※ 合計は国籍（出身地）不詳を含む。
 ※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成。
 ※ 2019年同月比及び前年同月比は、確定値との比較である。

都道府県別外国人延べ宿泊者数 (2023.6～2023.8)



(延べ宿泊者数単位：人泊)

【順位】

順位	6月			7月			8月		
	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比
1	13東京都	3,671,020	151.7%	13東京都	4,116,960	156.2%	13東京都	3,755,730	156.6%
2	27大阪府	1,542,410	98.1%	27大阪府	1,812,690	103.0%	27大阪府	1,704,020	112.0%
3	26京都府	975,890	99.0%	26京都府	1,136,360	106.5%	26京都府	1,041,810	100.5%
4	01北海道	464,340	71.5%	01北海道	716,600	81.3%	01北海道	616,810	95.4%
5	40福岡県	423,400	107.3%	47沖縄県	461,320	52.7%	47沖縄県	464,070	59.0%
6	47沖縄県	364,910	51.7%	40福岡県	416,050	108.8%	40福岡県	439,750	145.7%
7	12千葉県	322,520	69.5%	12千葉県	354,520	66.3%	12千葉県	296,850	72.1%
8	14神奈川県	209,900	86.2%	14神奈川県	243,110	81.0%	14神奈川県	260,070	89.0%
9	23愛知県	163,700	48.6%	23愛知県	178,730	53.8%	23愛知県	161,430	51.7%
10	44大分県	92,690	99.7%	34広島県	125,460	98.6%	34広島県	133,050	126.7%
11	34広島県	91,460	93.0%	19山梨県	115,220	57.7%	44大分県	100,250	145.2%
12	19山梨県	90,850	52.9%	44大分県	94,740	105.6%	19山梨県	98,260	55.2%
13	28兵庫県	78,110	64.6%	22静岡県	94,430	34.6%	22静岡県	93,870	37.1%
14	22静岡県	75,440	34.4%	21岐阜県	90,820	74.5%	43熊本県	89,700	131.3%
15	21岐阜県	73,830	62.8%	28兵庫県	80,660	64.4%	17石川県	80,660	117.6%
16	17石川県	73,660	106.5%	20長野県	70,120	78.2%	21岐阜県	74,750	62.9%
17	43熊本県	72,670	98.0%	43熊本県	68,920	90.8%	28兵庫県	74,550	74.6%
18	20長野県	68,970	71.3%	17石川県	64,780	73.7%	20長野県	63,820	82.7%
19	04宮城県	44,450	105.7%	30和歌山県	52,030	85.4%	04宮城県	47,540	101.8%
20	42長崎県	36,790	51.2%	04宮城県	43,800	98.7%	30和歌山県	46,550	94.4%
21	37香川県	35,990	68.2%	42長崎県	41,710	64.5%	42長崎県	40,290	79.3%
22	30和歌山県	33,710	62.5%	37香川県	39,080	53.4%	29奈良県	32,650	61.4%
23	09栃木県	30,690	157.1%	09栃木県	34,960	164.5%	37香川県	32,080	45.4%
24	33岡山県	24,130	58.0%	33岡山県	31,670	70.4%	33岡山県	29,820	69.2%
25	16富山県	23,980	72.8%	29奈良県	31,600	53.3%	09栃木県	29,000	145.2%
26	46鹿児島県	23,190	38.3%	46鹿児島県	28,950	45.0%	46鹿児島県	25,920	46.9%
27	29奈良県	21,140	47.1%	03岩手県	20,520	98.3%	03岩手県	22,530	93.6%
28	07福島県	17,290	169.3%	02青森県	19,750	69.6%	02青森県	20,440	68.2%
29	03岩手県	16,540	99.9%	10群馬県	18,990	114.3%	25滋賀県	20,370	76.6%
30	15新潟県	15,110	83.4%	25滋賀県	18,990	55.4%	11埼玉県	16,570	102.9%

順位	6月			7月			8月		
	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比
31	10群馬県	14,590	71.5%	11埼玉県	17,680	78.5%	38愛媛県	16,260	95.0%
32	25滋賀県	14,190	43.7%	07福島県	17,430	131.3%	08茨城県	14,200	90.9%
33	02青森県	13,820	70.7%	15新潟県	16,850	54.3%	39高知県	13,980	152.8%
34	38愛媛県	13,810	99.3%	08茨城県	16,200	84.2%	15新潟県	13,600	74.4%
35	11埼玉県	13,720	74.8%	24三重県	14,260	34.4%	24三重県	13,030	37.0%
36	08茨城県	13,250	84.9%	38愛媛県	13,930	76.5%	07福島県	12,830	100.6%
37	24三重県	12,880	33.3%	45宮崎県	12,630	55.9%	10群馬県	12,780	85.5%
38	41佐賀県	9,970	31.5%	16富山県	12,200	41.9%	41佐賀県	12,590	55.5%
39	39高知県	8,280	118.5%	41佐賀県	11,110	34.8%	16富山県	11,440	48.0%
40	36徳島県	8,100	83.4%	36徳島県	10,890	114.2%	36徳島県	11,310	88.7%
41	05秋田県	6,940	98.3%	39高知県	10,150	127.2%	05秋田県	9,850	85.8%
42	45宮崎県	6,770	31.2%	31鳥取県	7,570	40.9%	31鳥取県	9,330	72.8%
43	06山形県	6,100	52.4%	05秋田県	7,390	76.5%	06山形県	7,210	76.0%
44	35山口県	5,670	69.0%	06山形県	7,310	61.1%	35山口県	6,230	96.3%
45	31鳥取県	4,990	32.2%	35山口県	6,650	80.6%	45宮崎県	6,130	29.8%
46	32島根県	4,080	42.2%	18福井県	4,210	65.6%	32島根県	5,950	88.5%
47	18福井県	3,690	42.7%	32島根県	4,120	48.9%	18福井県	5,160	83.0%
全国		9,339,670			10,814,130			10,095,050	

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」(令和5年8月・第2次速報)

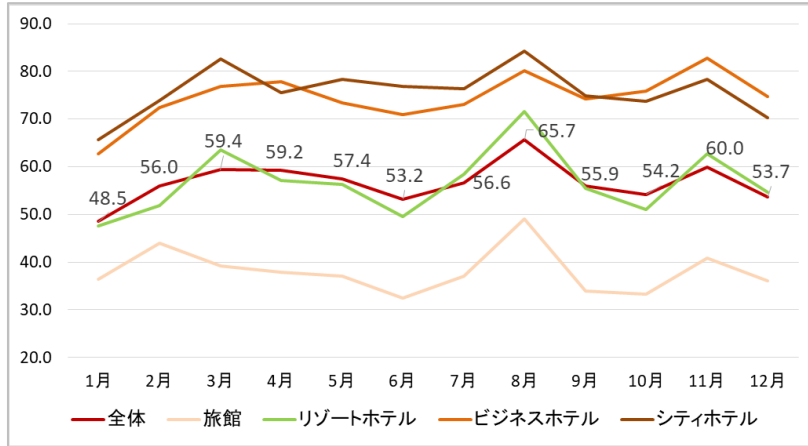
- 外国人延べ宿泊者数のトップ3は、4月以降、東京都、大阪府、京都府。これらトップ3はコロナ前を超えて回復。
- 兵庫県は、2019年8月比では7割程度の回復率。2023年4月以降、約6～7割程度で推移しており、順位としては、13～17位で推移。
- 神戸と同様に政令市の横浜市、名古屋市がある神奈川県、愛知県は、それぞれ約8割、約5割の回復率となるなど、依然、地域によってばらつきが生じている。

宿泊タイプ別客室稼働率

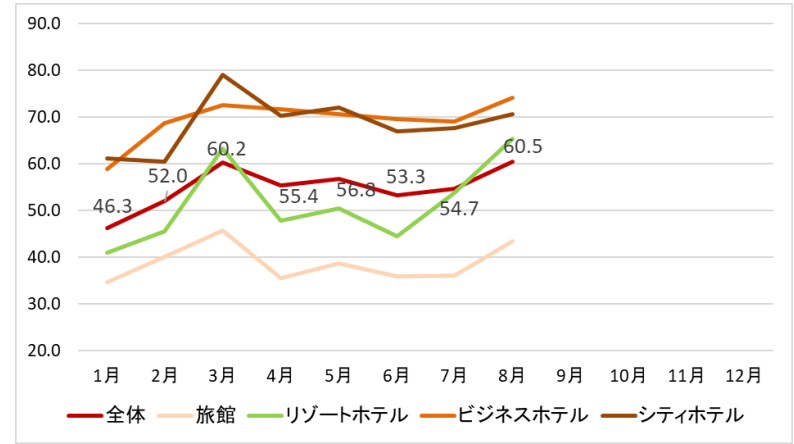
2019年／2023年比較

【兵庫県】

(2019年)

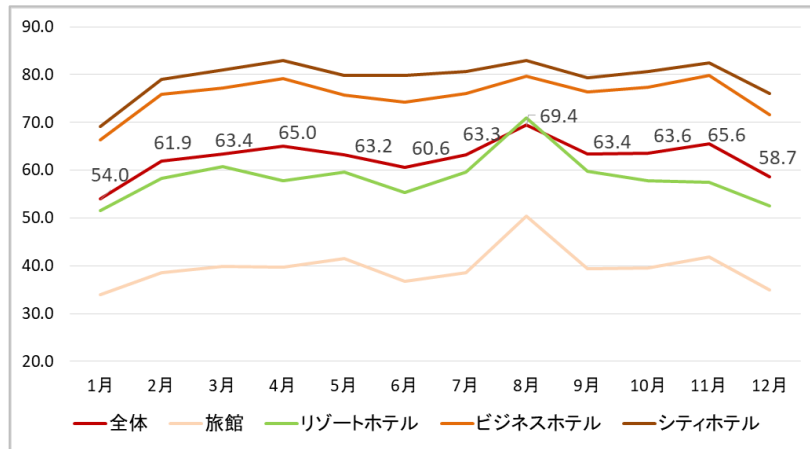


(2023年)

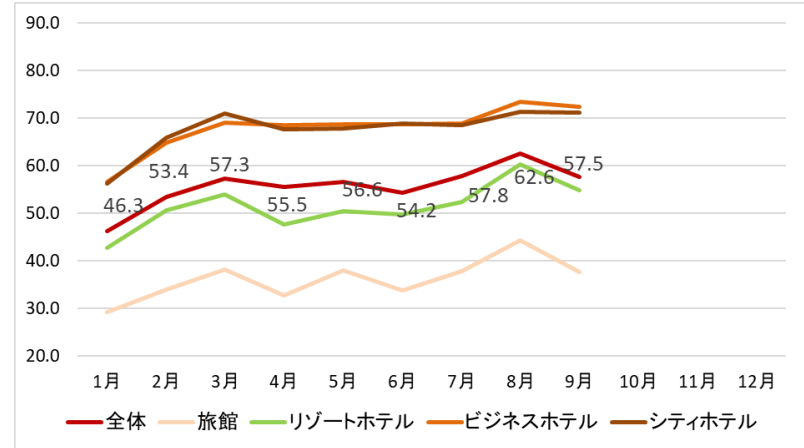


【全国】

(2019年)



(2023年)



世界の運航状況

2019年11月1週目比 2023年11月1週目比

世界	-3.2%	-0.1%
西欧	-3.9%	-1.8%
東欧	-17.9%	-2.5%
北米	1.9%	0.8%
中米	12.7%	2.6%
南米	6.6%	-1.8%
東アジア	-4.1%	-0.1%
東南アジア	-22.3%	0.7%
中東	0.5%	1.4%
太平洋(豪州ほか)	-5.5%	0.6%

出典: OAG FLIGHT DATAより抜粋・算出

<https://www.oag.com/coronavirus-airline-schedules-data?hsLang=en-gb>

世界の運航状況は、2019年の同じ週の座席数を3.2%下回っている。

ヨーロッパ全土で座席数の削減が続いている。
米国国内では南米で削減・北米で追加、全体では若干増加している。

世界の座席利用率(2023年9月)

※ポイントは2019年同月差

地域	合計	国際線	国	国内線
アジア・太平洋	80.0% -0.2p	82.5% 4.0p	日本	74.9% -2.8p
欧州	86.0% -0.6p	85.5% -1.4p	中国	76.7% -6.8p
北米	83.0% 0.3p	83.0% 0.3p	インド	84.7% -1.0p
中南米	83.9% 1.9p	85.8% 3.2p	米国	81.3% -1.3p
中東	81.6% 6.6p	81.8% 6.6p	豪州	84.7% 2.3p
合計	82.6% 0.7p	83.8% 2.1p	合計	80.7% -1.6p

出典: IATA「Air Passenger Market Analysis」より抜粋

9月の総座席数は地域ごとにばらつきがみられるが2019年比96.5%まで回復。

座席利用率も全体で82.6%まで上昇。
日本国内の※RPK(旅客キロ数)は、2019年比90.4%。

※RPK (Revenue Passenger-Kilometers)

各有償旅客が搭乗し、飛行した距離の合計。 有償旅客数×輸送距離

関西国際空港・神戸空港の利用状況(2022年10月～2023年9月) 11月16日時点



関西国際	2022年 10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
総旅客数(人)	885,510	1,136,004	1,352,147	1,390,798	1,456,834	1,756,841	1,651,773	1,808,219	1,892,675	2,123,912	2,265,940	2,101,187
2019年比(%)	-65	-55	-47	-47	-42	-39	-40	-34	-30	-24	-29	-15
国際線 発着数(回)	4,284	5,544	6,242	6,227	6,197	7,496	8,227	8,660	8,786	9,663	9,903	9,918
2019年比(%)	-66	-57	-55	-55	-48	-44	-38	-36	-34	-30	-28	-22
外国人 旅客数(人)	206,106	471,298	663,438	753,219	736,776	808,116	960,417	989,324	1,095,837	1,202,909	1,211,871	1,114,589
2019年比(%)	-84	-64	-50	-47	-46	-43	-39	-33	-28	-22	-12	-4
国内線 旅客数(人)	583,702	560,512	560,251	502,333	552,232	698,171	524,658	574,587	539,419	597,974	619,088	606,585
2019年比(%)	+2	-2	+1	-9	+5	+9	-8	-4	-2	-2	-6	+2
神戸	2022年 10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国内線発着 回数(回)	3,106	2,858	3,058	2,812	2,755	3,014	2,788	2,845	2,744	3,059	2,919	2,897
2019年比(%)	+1	±0	±0	+16	+25	+21	+13	+8	+14	+19	+7	+4
国内線 旅客数(人)	293,612	286,507	279,040	253,485	263,184	316,365	262,558	290,845	275,898	290,661	313,651	296,352
2019年比(%)	+1	-4	±0	+2	+7	+10	+4	+5	+5	+3	-5	-2

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率(2022年10月～2023年9月)

11月17日時点



路線	内容	10月	11月	12月	23年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新千歳	旅客数(人)	50,832	40,730	41,390	40,249	44,358	50,793	37,584	48,405	51,985	54,162	55,414	53,866
	利用率(%)	82.8	66.8	67.1	66.7	81.7	80.5	62.1	77.1	85.0	86.3	91.3	88.4
青森	旅客数(人)	3,636	2,764	2,475	2,054	2,358	3,965	2,654	3,674	3,550	3,566	4,113	3,357
	利用率(%)	69.8	54.8	49.1	40.8	50.2	76.1	52.7	70.5	70.4	68.5	81.7	66.6
花巻	旅客数(人)	2,558	2,732	2,597	2,405	2,166	3,863	2,560	3,023	3,022	3,304	4,168	3,508
	利用率(%)	49.3	56.9	52.4	49.2	50.0	78.1	52.5	59.2	60.0	63.4	82.7	69.7
仙台	旅客数(人)	17,488	17,487	16,337	13,382	14,349	18,112	14,971	17,174	15,719	14,945	18,479	18,116
	利用率(%)	79.7	82.3	74.4	62.0	73.7	83.9	70.5	78.2	74.0	68.1	88.5	85.3
新潟	旅客数(人)	2,127	1,811	1,534	1,163	1,583	2,632	209	1,005	-	-	1,305	-
	利用率(%)	45.5	35.9	33.3	26.1	33.7	62.7	62.2	85.5	-	-	77.7	-
茨城	旅客数(人)	23,264	24,291	22,316	18,885	20,508	26,489	21,642	23,741	22,066	22,222	27,430	23,125
	利用率(%)	70.7	78.0	67.8	58.0	69.0	80.5	67.9	72.1	69.3	67.5	86.1	72.6
羽田	旅客数(人)	75,781	76,456	78,852	72,983	69,384	79,594	70,589	73,973	69,628	70,971	75,956	74,804
	利用率(%)	82.5	88.5	87.9	82.0	87.4	88.6	81.1	82.5	79.7	79.1	88.0	86.0
松本	旅客数(人)	7,086	7,233	5,873	5,086	5,610	7,479	5,912	7,350	6,729	7,489	7,906	7,766
	利用率(%)	68.2	73.6	62.4	50.5	61.8	73.0	58.7	70.7	66.8	71.9	78.5	77.2
高知	旅客数(人)	2,178	2,380	2,912	2,607	2,409	3,190	2,178	2,731	2,154	2,592	3,149	2,666
	利用率(%)	41.9	49.6	58.1	52.5	53.8	64.5	43.9	52.5	42.7	49.8	63.5	52.9
長崎	旅客数(人)	23,214	22,017	20,425	19,793	20,435	25,737	22,612	24,397	21,535	22,591	24,780	25,593
	利用率(%)	70.5	69.9	62.0	60.8	68.7	78.2	71.0	74.1	67.0	68.6	81.9	80.3
鹿児島	旅客数(人)	16,263	16,935	15,784	14,181	14,804	15,665	13,997	16,745	14,390	14,167	16,500	17,183
	利用率(%)	74.1	79.7	71.9	65.7	74.7	71.4	65.9	76.3	67.7	64.5	83.2	80.9
那覇	旅客数(人)	54,558	57,607	53,879	48,445	53,212	63,904	54,825	54,986	52,787	59,661	59,058	52,309
	利用率(%)	71.5	78.2	70.6	63.8	77.2	82.3	72.7	69.9	75.1	72.5	83.5	70.9
下地島	旅客数(人)	8,689	8,822	8,955	6,586	7,905	9,299	7,936	7,482	8,039	8,584	7,796	8,487
	利用率(%)	79.2	83.1	81.6	60.0	79.8	84.7	74.7	70.5	78.3	78.2	84.7	82.7